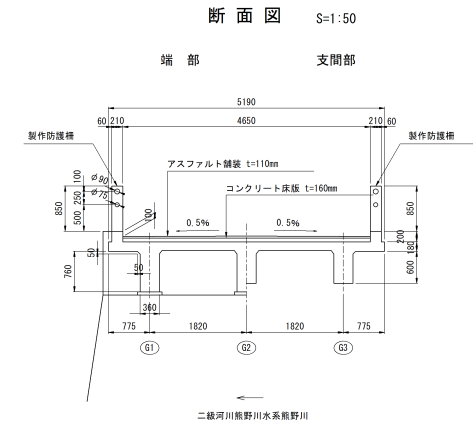
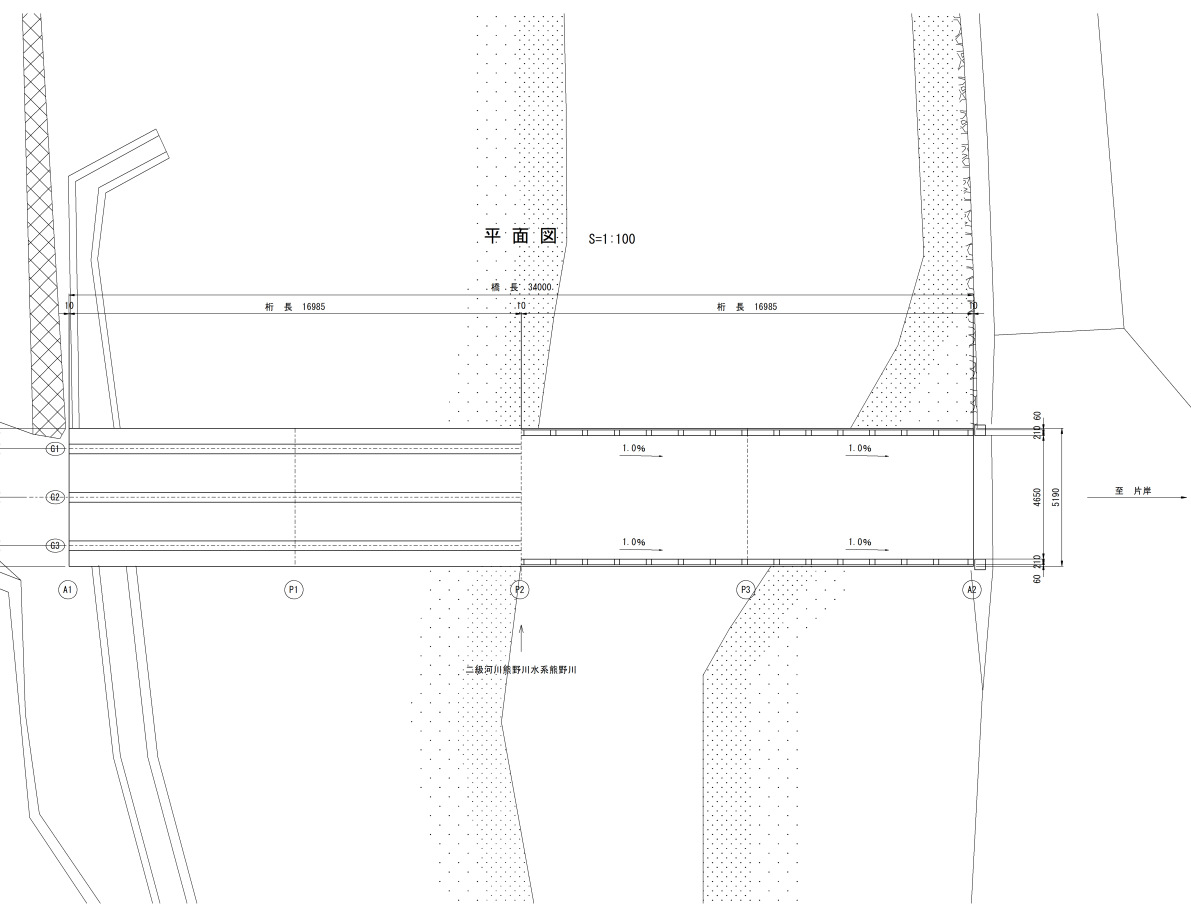
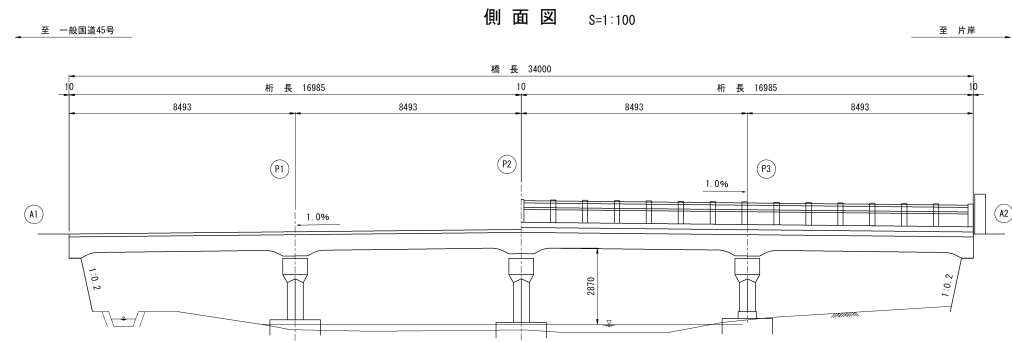


荒川橋 現橋一般図



現橋諸元

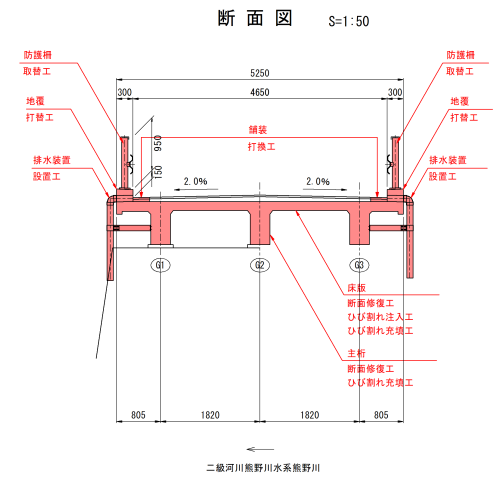
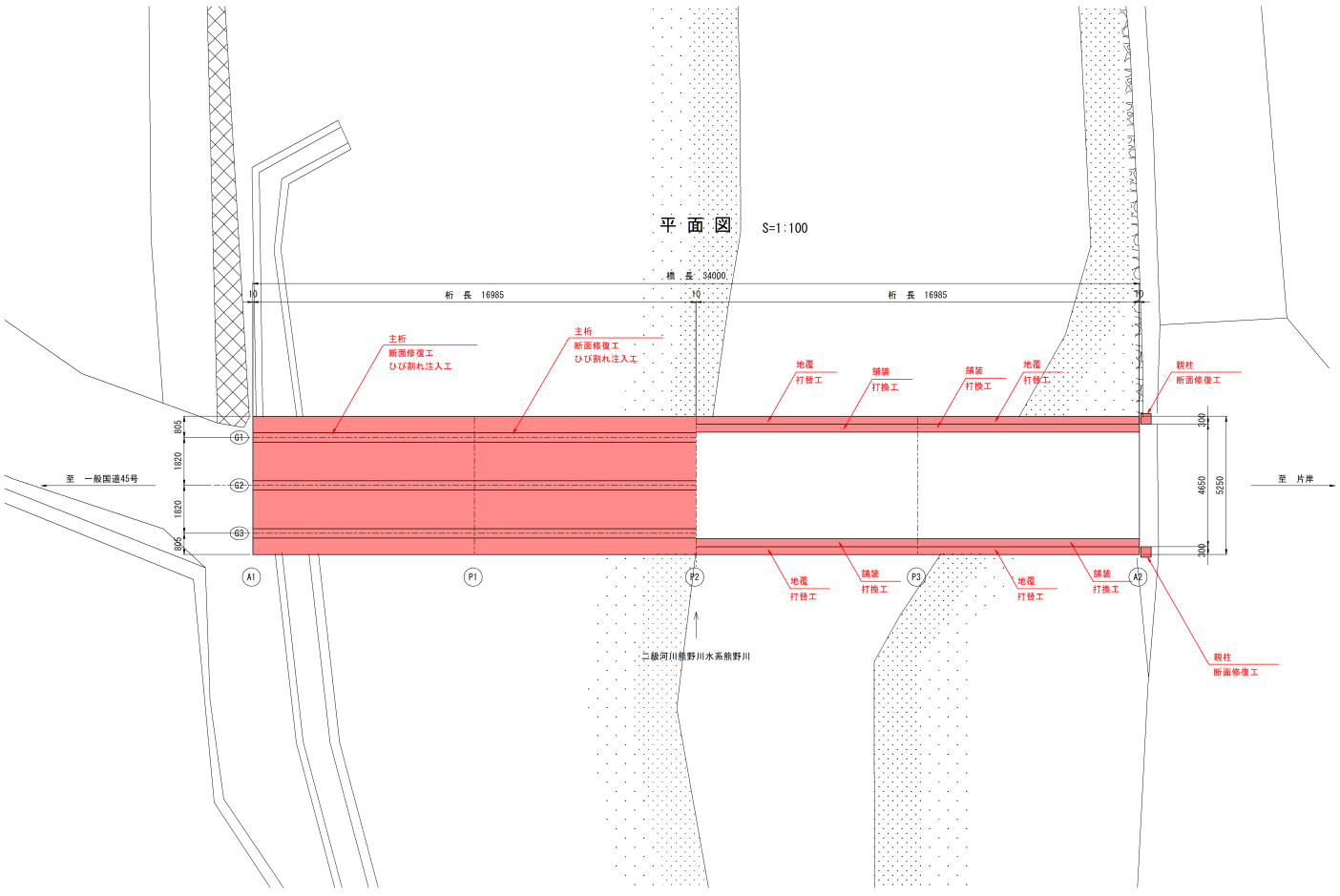
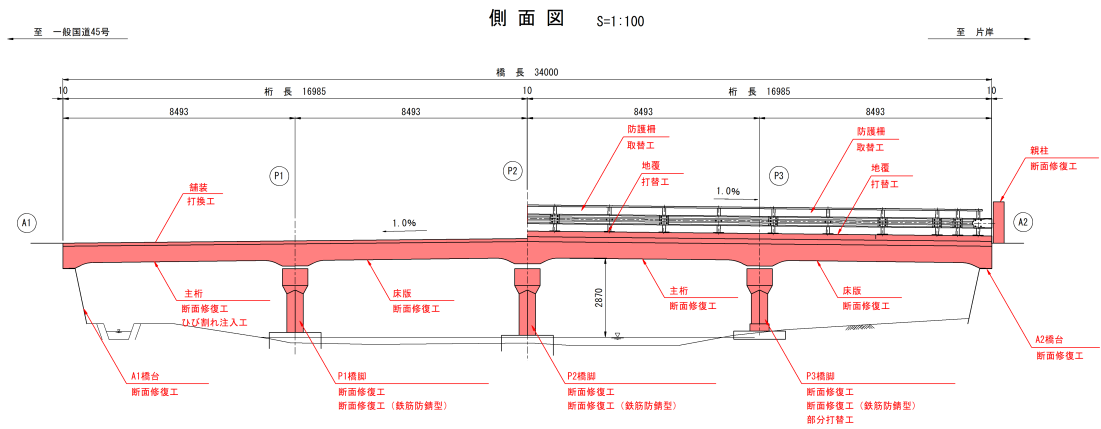
型式	2径間連続RC床版橋
橋格	不明
竣工	昭和7年(1932年)
荷重	不明
橋長	34.000m
桁長	2817.000m
支間長	488.500m
幅員	5.190m(有効幅員4.650m)
斜角	90°
適用	大正15年6月(1926年)
示方書	道路橋通に関する細則案(内務省土木局)

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により
復元したものである。細部の詳細寸法について
は、現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

釜石市	
市道 唐丹57号線	釜石市唐丹町 字荒川・字上荒川 地内
全 21 枚ノ中 其 1	荒川橋 現橋一般図
令和 5 年度	
唐丹57号線(荒川橋)橋梁補修工事	
縮尺	図示

荒川橋 補修一般図



補修一覧表

	部 材 名	補 修 工 法	備 考
上部工	主桁	断面修復工（鉄筋防錆型）	ポリマーセメントモルタル（塩分吸着剤入り）
		ひび割れ注入工	エポキシ樹脂系
		断面修復工（鉄筋防錆型）	ポリマーセメントモルタル（塩分吸着剤入り）
	床版	ひび割れ注入工	エポキシ樹脂系
		ひびわれ充填工	可とう性エポキシ樹脂
下部工	A1橋台	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	P1橋脚	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
		断面修復工（鉄筋防錆型）	ポリマーセメントモルタル（塩分吸着剤入り）
	P2橋脚	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
		断面修復工（鉄筋防錆型）	ポリマーセメントモルタル（塩分吸着剤入り）
	P3橋脚	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
		断面修復工（鉄筋防錆型）	ポリマーセメントモルタル（塩分吸着剤入り）
	部分打替工	コンクリート	
橋面工	A2橋台	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	舗装	舗装打替工	アスファルト
	排水装置	排水装置設置工	VP100
	地覆	地覆打替工	コンクリート
	観柱	断面修復工	ポリマーセメントモルタル
	防護機	防護欄取替工	ガードレール（C型）

※本図面は、橋梁価概および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

釜 石 市	
市道 唐井57号線	釜石市唐井町 字荒川・字上荒川 地内
全 21 枚ノ中 其 2	荒 川 橋 補修一般図
令和 5 年度	
唐井57号線(荒川橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

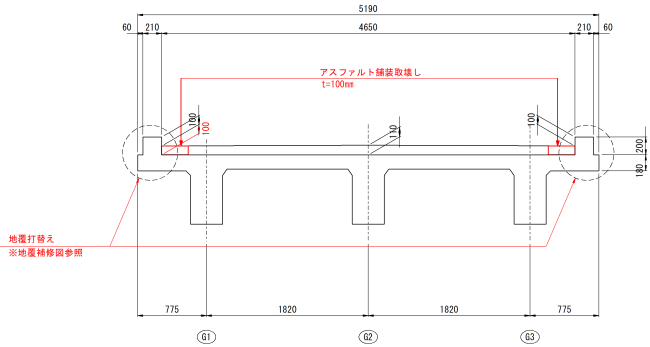
荒川橋 舗装補修図

排水装置詳細図 S=1:10

断面図
(N=8箇所)

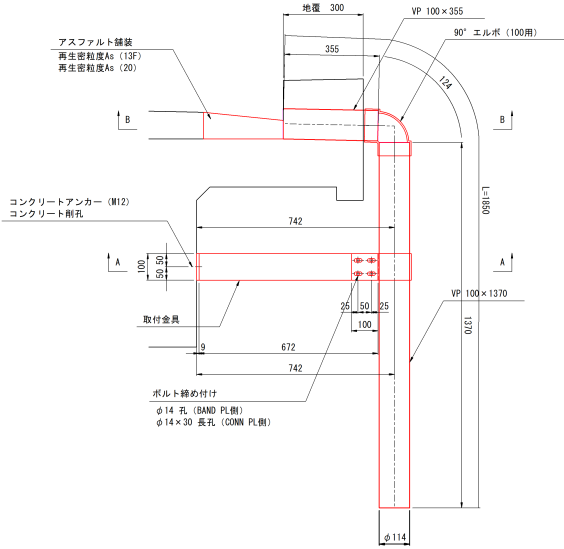
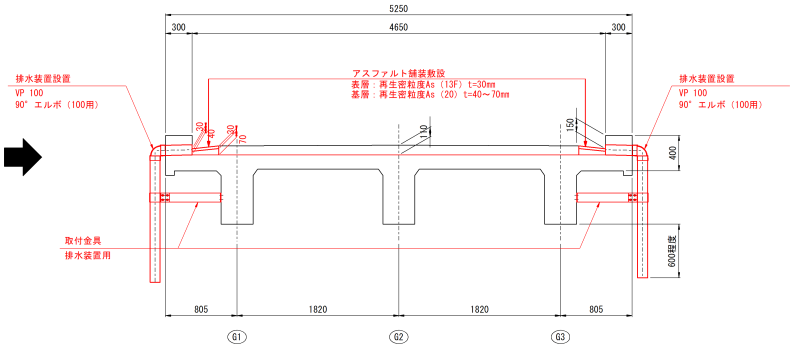
断面図 S=1:30

1. 施工前 (排水装置部)

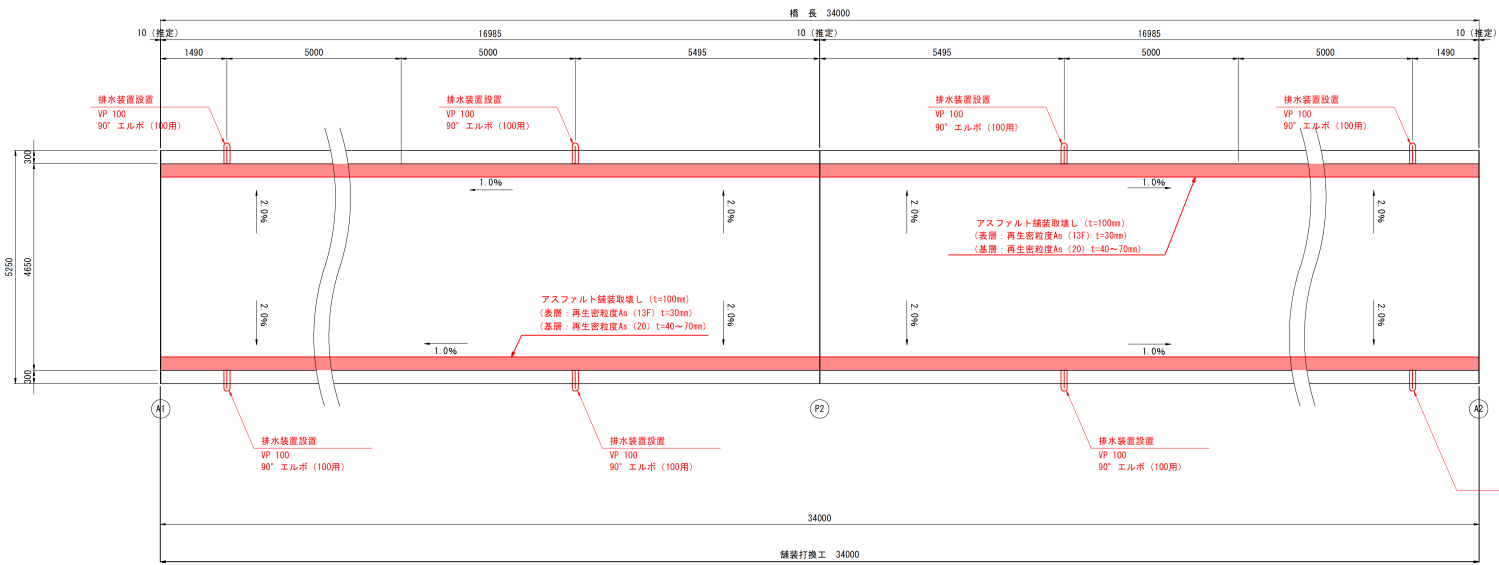


断面図 S=1:30

2-1. 施工後 (排水装置部)

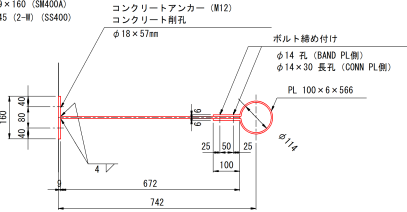


平面図 S=1:60

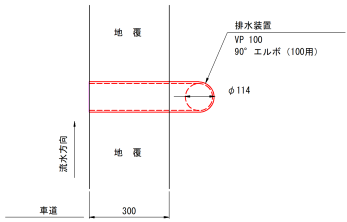


平面図 (A-A)

取付金具数量 (1箇所当たり) N=8
1-PL 100×6×566 (SS400)
1-PL 100×9×672 (SM400A)
1-PL 100×9×160 (SM400A)
4-BN M12×45 (2-M) (SS400)



平面図 (B-B)



注記

- 舗装を剥いだ際、コンクリートに軟弱な箇所が確認された場合、軟弱部を撤去し、断面修復 (ポリマーセメントモルタル等) を行うこと。
- 取付金具は全て溶融亜鉛めっきとする。
運搬の付着量は、JIS H 8641 H0255とする。但し、ボルト及びナット類は、JIS H 8641 H0235とする。
- 舗装の計画高さは監督員の承認を得て施工すること。
- 排水装置の設置位置は、舗装取壊し後に縦断勾配を確認し設置位置を最終決定すること。
(設置間隔縦断勾配1%以下5m/1箇所縦断勾配1%以上10m/1箇所)

※本図面は、調査機構および現地寸法計測により
復元したものである。補修の詳細寸法につい
ては、現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原因に対するものである。

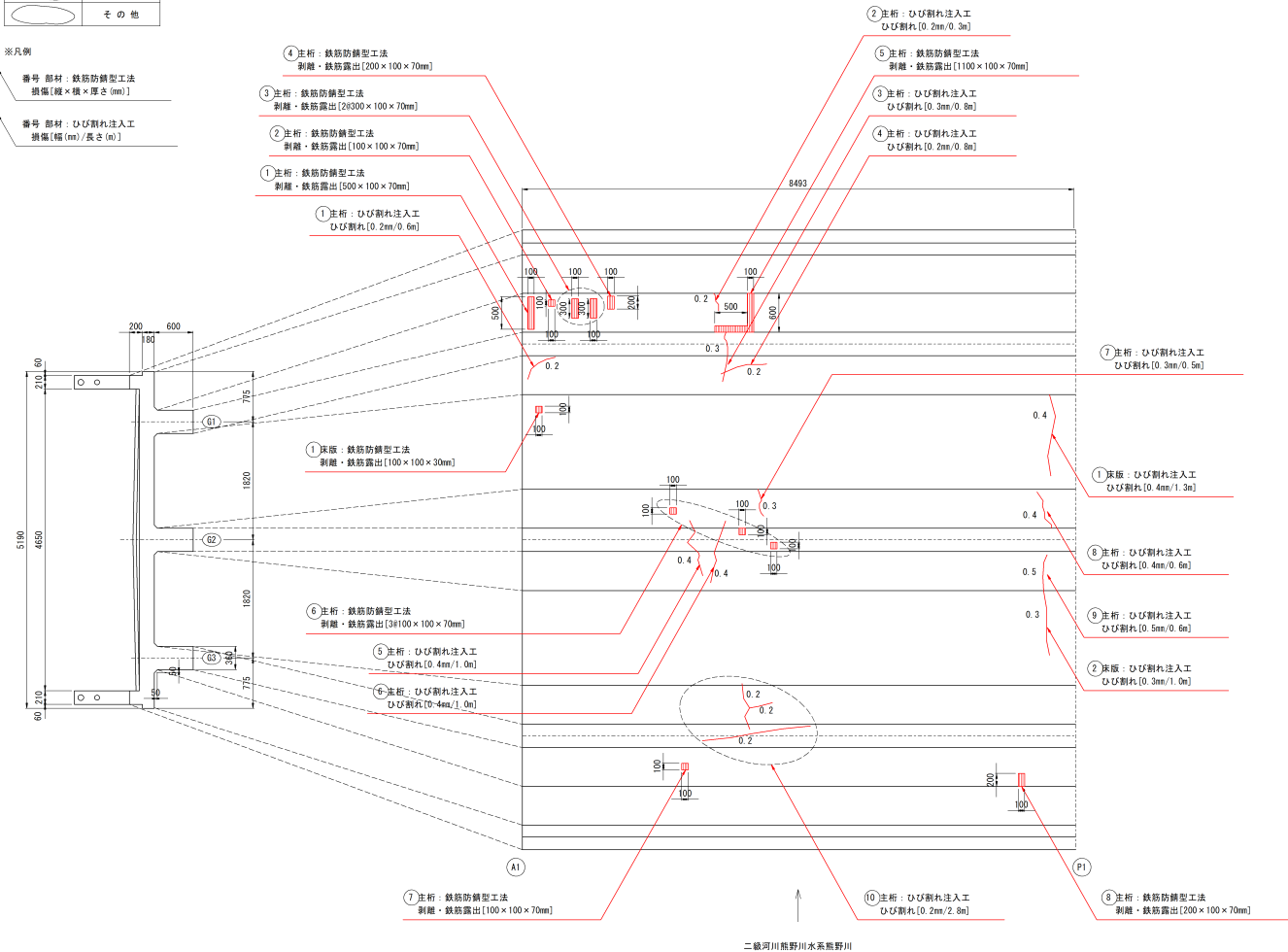
釜 石 市	
市道 唐丹51号線	釜石市唐丹町 字荒川・字上荒川 地内
全 21 枚ノ中 其 3	荒 川 橋 舗装補修図
令和 5 年度	
唐丹51号線(荒川橋)舗装補修工事	
縮 尺	図 示

表 示	損傷の種類
	ひびわれ
	剥 離
	鉄筋露出
	う き
	そ の 他

※凡例

番号 部材：鉄筋防錆型工法
損傷(縦×横×厚さ(mm))

番号 部材：ひび割れ注入工
損傷(幅(mm)/長さ(m))



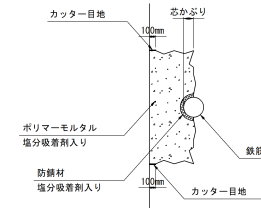
二級河川荒野川水系熊野川

荒川橋 上部工補修図（その1）

S=1:40

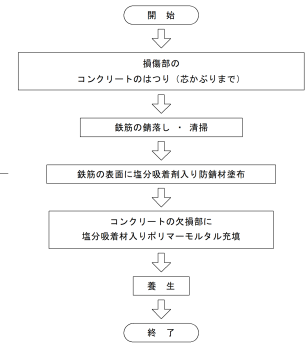
（第1径間 桁下面）

断面修復工〔鉄筋防錆型工法〕



※端部はフェザーエッジ防止のため、
10mm程度の cutter を入れること。
※はつり厚は現地計測結果より算出している。
(床版30mm、主桁70mmとする)

断面修復の施工フロー



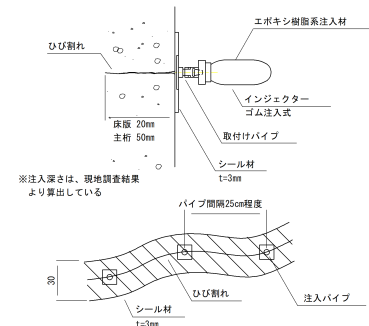
材 料 表

工 種	仕 様
断面修復材	塩分吸着剤入りポリマーモルタル
防錆材	塩分吸着剤入り防錆材

ひび割れ注入工

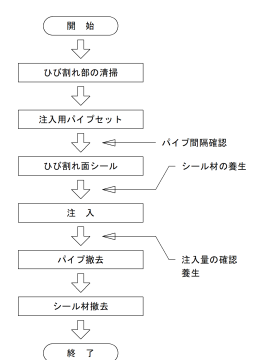
(ひび割れ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満)

(注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法)



※注入深さは、現地調査結果
より算出している

ひび割れ注入工の施工フロー



材 料 表

工 種	仕 様
注入材	エポキシ樹脂系注入材
シーリング材	エポキシ樹脂系シーリング材

※本図面は、調査台帳および現地寸法計測により
復元したものである。細部の詳細寸法については、
現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

釜 石 市	
市 道 港 丹 57 号 線	釜 石 市 港 丹 町 字 荒 川 ・ 字 上 荒 川 地 内
全 21 枚 ノ 中 其 4	荒 川 橋 上 部 工 補 修 図 其 の 1
令和 5 年 度	
港 丹 57 号 線 (荒 川 橋) 橋 梁 補 修 工 事	
縮 尺	図 示

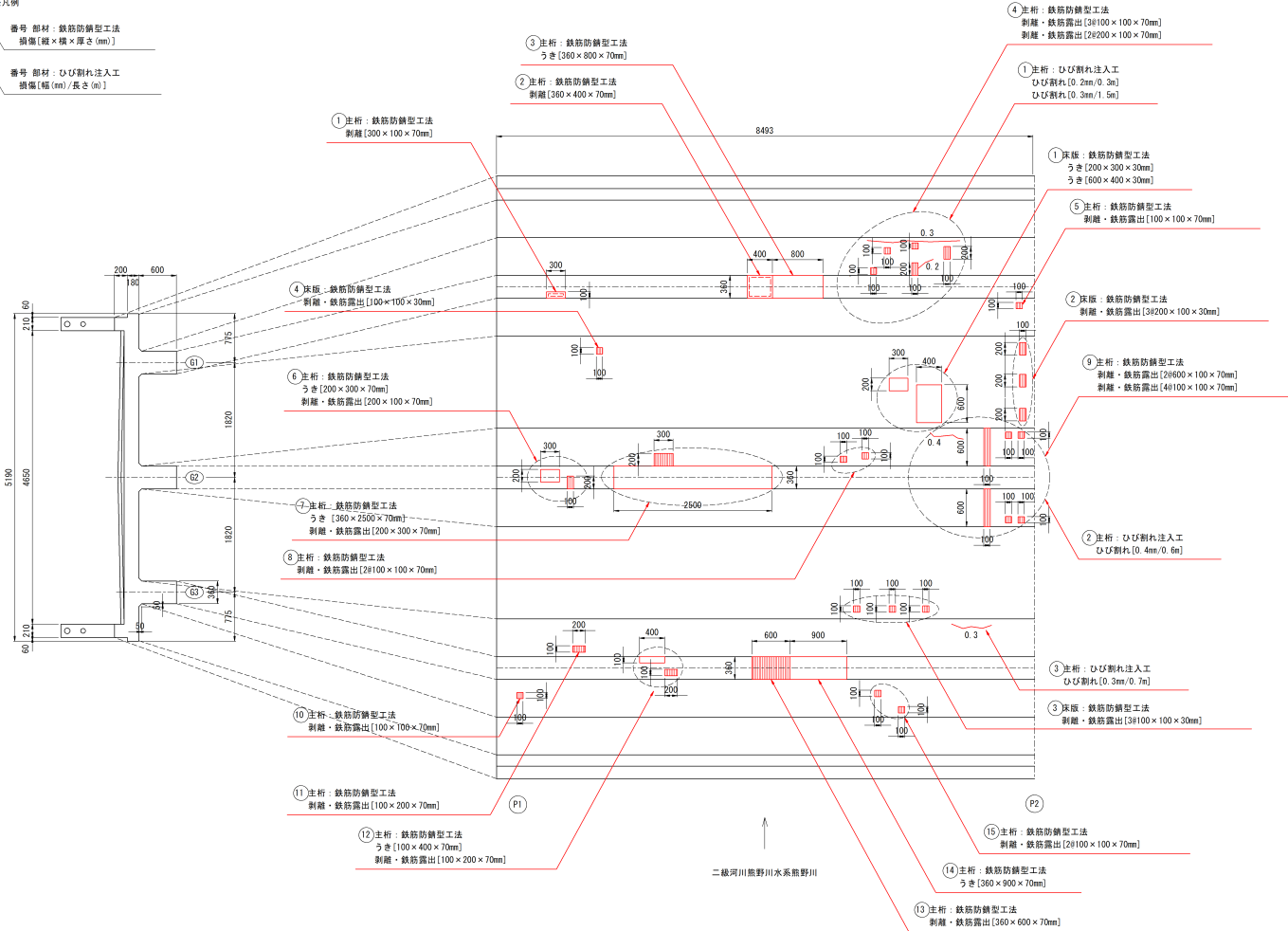
（第2径間 桁下面）

表 示	損傷の種類
	ひびわれ
	剝 離
	鉄筋露出
	う き
	そ の 他

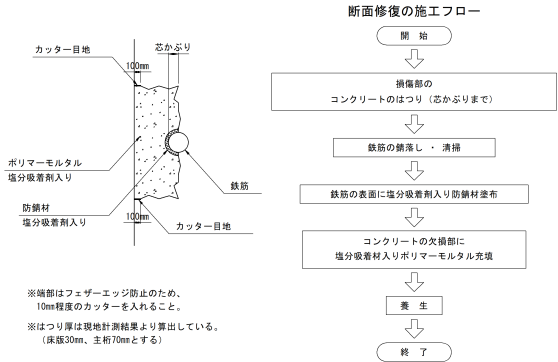
※凡例

番号 部材：鉄筋防錆型工法
損傷〔縦×横×厚さ(mm)〕

番号 部材：ひび割れ注入工
損傷〔幅(mm)/長さ(m)〕



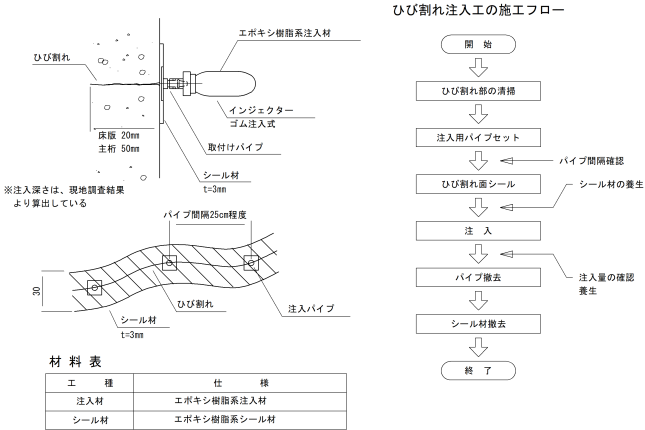
断面修復工〔鉄筋防錆型工法〕



※端部はフェザーエッジ防止のため、
10mm程度の cutter を入れること。
※はつり厚は現地計測結果より算出している。
(床版30mm、主桁70mmとする)

材 料 表	
工 種	仕 様
断面修復材	塩分吸着材入りポリマーモルタル
防錆材	塩分吸着材入り防錆材

ひび割れ注入工
(ひび割れ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満)
(注入圧力 0.4MPa 以下の低圧低速注入工法)



※注入深さは、現地調査結果より算出している

材 料 表	
工 種	仕 様
注入材	エポキシ樹脂系注入材
シール材	エポキシ樹脂系シール材

※本図面は、検査合格および現地計測により
確認したものである。細部の修繕方法について
は、現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

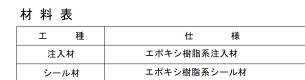
番 石 市	
市道 唐井57号線	番石市唐井町 字荒川・字上荒川 地内
全 21 款ノ中 第 5	荒 川 橋 上部工補修図その2
令和 5 年度	
唐井57号線(荒川橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

S=1:40

表 示	損傷の種類
	ひびわれ
	剥離
	鉄筋露出
	うき
	その他

番号 部材：鉄筋防錆型工法
損傷[縦×横×厚さ(mm)]

番号 部材：ひび割れ注入工
損傷[幅(mm)/長さ(m)]



工 種	仕 様
注入材	エポキシ樹脂系注入材
シール材	エポキシ樹脂系シール材

釜 石 市	
市道 唐丹57号線	釜石市唐丹町 字荒川・字上荒川 地内
全 21 枚ノ中 其 6	荒 川 橋 上郡工機修設その3
令和 5 年度	
唐丹57号線(荒川橋)橋梁補修工事	
給 付	図 示

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

表 示	損傷の種類
	ひびわれ
	剥 離
	鉄筋露出
	う き
	そ の 他

※凡例

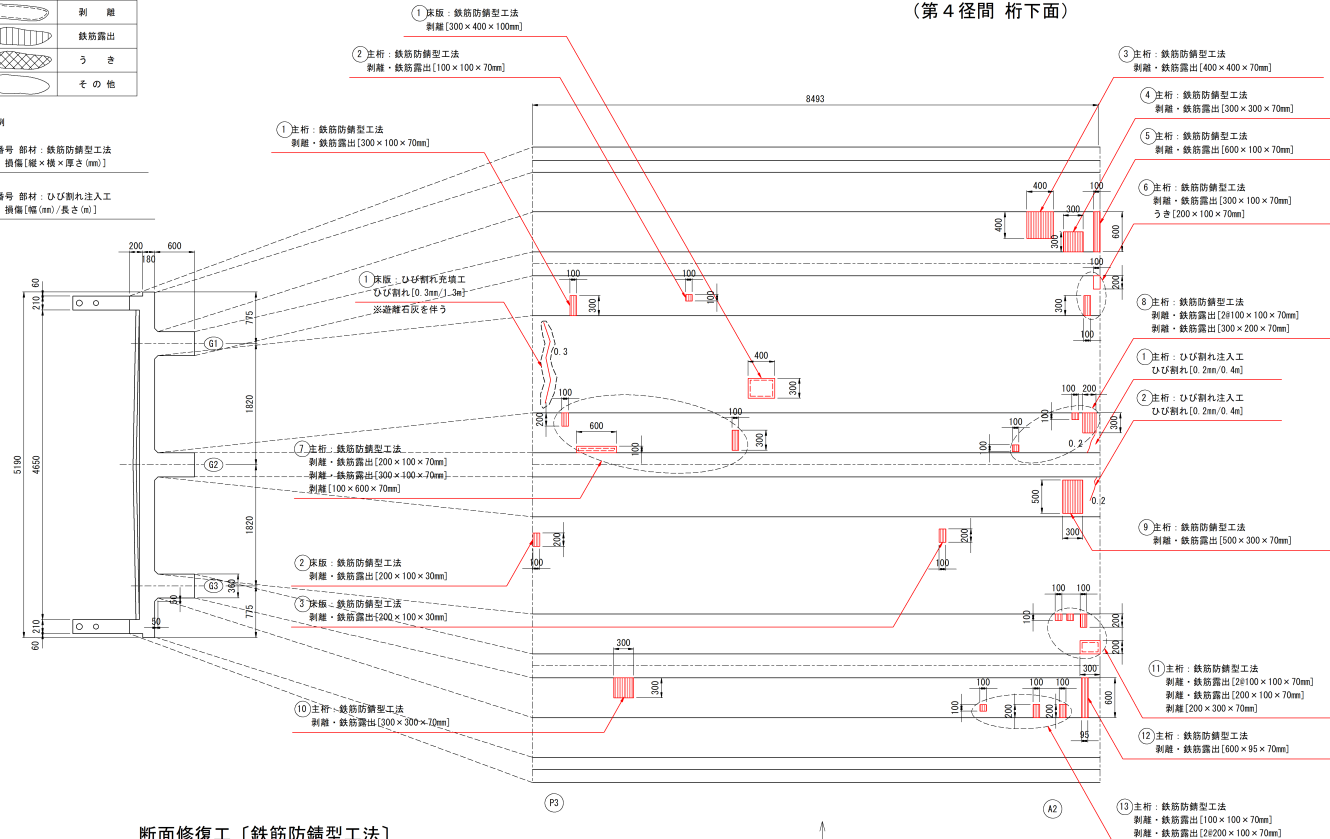
番号 部材 鉄筋防錆型工法
損傷 [縦×横×厚さ (mm)]

番号 部材 ひび割れ注入工
損傷 [縦 (mm) / 長さ (m)]

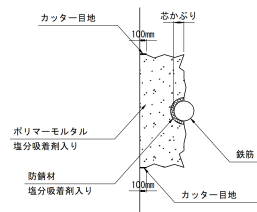
荒川橋 上部工補修図 (その4)

S=1:40

(第4径間 桁下面)



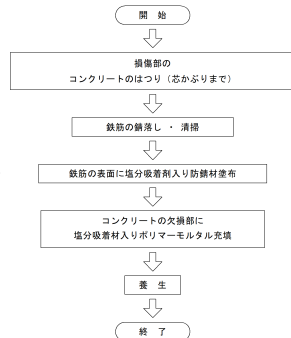
断面修復工〔鉄筋防錆型工法〕



※露部はフェーザーエッジ防止のため、10mm程度のカッターを入れること。

※はつり厚は現地計測結果より算出している。
(床版30mm、主桁70mmとする)

断面修復の施工フロー

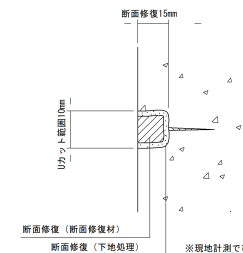


材 料 表

工 種	仕 様
断面修復材	塩分吸着剤入りポリマーモルタル
防錆材	塩分吸着剤入り防錆材

ひび割れ充填工 (Uカット工法)

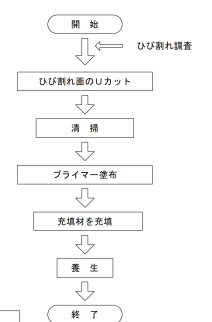
(ひび割れ幅 1.0mm 以上、遊離石灰を伴う箇所)



材 料 表

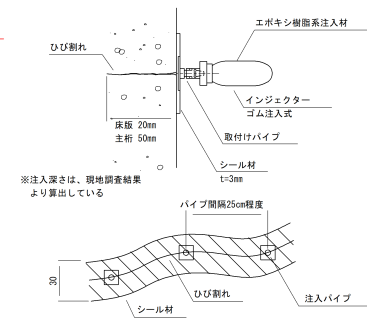
工 種	仕 様
下地処理	溶剤型エポキシ樹脂プライマー
断面修復材	可とう性エポキシ樹脂

ひび割れ充填工の施工フロー



ひび割れ注入工

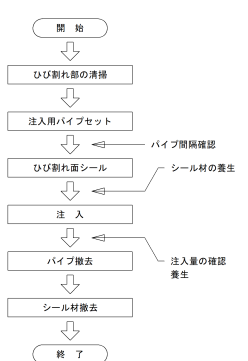
(ひび割れ幅 0.2mm 以上 1.0mm 未満)
(注入圧力0.4MPa以下の低圧低速注入工法)



材 料 表

工 種	仕 様
注入材	エポキシ樹脂系注入材
シール材	エポキシ樹脂系シール材

ひび割れ注入工の施工フロー



釜 石 市	
市道 唐丹57号線	釜石市唐丹町 平荒川・字上荒川 地内
全 21 枚ノヤ 其 丁	荒 川 橋 上部工補修図その4
令和 5 年度	
唐丹57号線(荒川橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

※本図面は、検査合格および現地計測により
確認したものである。細部の詳細寸法につ
いては、現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

荒川橋 上部工補修図（その5）

S=1:40

数量表

第1径間 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸 法						数 量			
鉄筋防錆型 工法	第1径間 主桁	①	0.500	×	0.100	×	0.070	=	0.0035 m3		
		②	0.100	×	0.100	×	0.070	=	0.0007 m3		
		③	0.300	×	0.100	×	0.070	×	2	=	0.0042 m3
		④	0.200	×	0.100	×	0.070	=	0.0014 m3		
		⑤	1.100	×	0.100	×	0.070	=	0.0077 m3		
		⑥	0.100	×	0.100	×	0.070	×	3	=	0.0021 m3
		⑦	0.100	×	0.100	×	0.070	=	0.0007 m3		
		⑧	0.200	×	0.100	×	0.070	=	0.0014 m3		
	計							=	0.022 m3		

工法	箇所	寸 法						数 量	
鉄筋防錆型 工法	第1径間 床版	①	0.100	×	0.100	×	0.030	=	0.0003 m3
	計							=	0.001 m3

工法	箇所		幅 (mm)	延長 (m)	箇所数	数 量
低圧注入工法	第1径間 主桁	①	0.2	0.600	1	0.6 m
		②	0.2	0.300	1	0.3 m
		③	0.3	0.800	1	0.8 m
		④	0.2	0.800	1	0.8 m
		⑤	0.4	1.000	1	1.0 m
		⑥	0.4	1.000	1	1.0 m
		⑦	0.3	0.500	1	0.5 m
		⑧	0.4	0.600	1	0.6 m
		⑨	0.5	0.600	1	0.6 m
		⑩	0.2	2.800	1	2.8 m
計						9.0 m

工法	箇所	幅 (mm)		延長 (m)	箇所数	数 量
低圧注入工法	第1径間	①	0.4	1.300	1	1.3 m
	床版	②	0.3	1.000	1	1.0 m
		計				

第2径間 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸 法						数 量			
鉄筋防錆型 工法	第2径間 主桁	①	0.300	×	0.100	×	0.070	=	0.0021 m3		
		②	0.360	×	0.400	×	0.070	=	0.0101 m3		
		③	0.360	×	0.800	×	0.070	=	0.0202 m3		
		④	0.100	×	0.100	×	0.070	×	3	=	0.0021 m3
			0.200	×	0.100	×	0.070	×	2	=	0.0028 m3
		⑤	0.100	×	0.100	×	0.070	=	0.0007 m3		
		⑥	0.200	×	0.300	×	0.070	=	0.0042 m3		
			0.200	×	0.100	×	0.070	=	0.0014 m3		
		⑦	0.360	×	2.500	×	0.070	=	0.0630 m3		
			0.200	×	0.300	×	0.070	=	0.0042 m3		
		⑧	0.100	×	0.100	×	0.070	×	2	=	0.0014 m3
		⑨	0.600	×	0.100	×	0.070	×	2	=	0.0084 m3
			0.100	×	0.100	×	0.070	×	4	=	0.0028 m3
		⑩	0.100	×	0.100	×	0.070	=	0.0007 m3		
		⑪	0.100	×	0.200	×	0.070	=	0.0014 m3		
		⑫	0.100	×	0.400	×	0.070	=	0.0028 m3		
			0.100	×	0.200	×	0.070	=	0.0014 m3		
		⑬	0.360	×	0.600	×	0.070	=	0.0151 m3		
		⑭	0.360	×	0.900	×	0.070	=	0.0227 m3		
	⑮	0.100	×	0.100	×	0.070	×	2	=	0.0014 m3	
計								=	0.169 m3		

工法	箇所	寸 法						数 量			
		①	0.200	×	0.300	×	0.030	=	0.0018 m3		
鉄筋防錆型 工法	第2径間 床版		0.600	×	0.400	×	0.030	=	0.0072 m3		
		②	0.200	×	0.100	×	0.030	×	3	=	0.0018 m3
		③	0.100	×	0.100	×	0.030	×	3	=	0.0009 m3
		④	0.100	×	0.100	×	0.030	=	0.0003 m3		
		計							=	0.012 m3	

工法	箇所		幅 (mm)	延長 (m)	箇所数	数 量
低圧注入工法	第2径間 主桁	①	0.2	0.300	1	0.3 m
			0.3	1.500	1	1.5 m
		②	0.4	0.600	1	0.6 m
		③	0.3	0.700	1	0.7 m
	計					3.1 m

釜 石 市	
市道 庚井57号線	釜石市唐丹町 字荒川・字上荒川 地内
全 21 枚 / 中 其 8	荒 川 橋 上部工補修図その5
令和 5 年度	
庚井57号線(荒川橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により
復元したものである。細部の詳細寸法について
は、現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

荒川橋 上部工補修図（その6）

S=1:40

数量表

第3径間 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸 法						数 量			
鉄筋防錆型 工法	第3径間 主桁	①	0.600	×	0.100	×	0.070	×	7	=	0.0294 m3
		②	0.360	×	2.700	×	0.070			=	0.0680 m3
		③	0.300	×	0.100	×	0.070			=	0.0021 m3
		④	0.100	×	0.200	×	0.070			=	0.0014 m3
			0.200	×	0.300	×	0.070			=	0.0042 m3
		⑤	0.100	×	0.100	×	0.070			=	0.0007 m3
			0.300	×	0.300	×	0.070			=	0.0063 m3
		⑥	0.400	×	0.100	×	0.070	×	2	=	0.0056 m3
			0.100	×	0.100	×	0.070			=	0.0007 m3
		⑦	0.360	×	0.400	×	0.070			=	0.0101 m3
			0.100	×	0.100	×	0.070	×	3	=	0.0021 m3
		⑧	0.200	×	0.100	×	0.070	×	3	=	0.0042 m3
			0.100	×	0.300	×	0.100			=	0.0030 m3
		⑨	0.100	×	0.200	×	0.070			=	0.0014 m3
			0.200	×	0.200	×	0.070			=	0.0028 m3
		⑩	0.100	×	0.100	×	0.070	×	3	=	0.0021 m3
			0.100	×	0.100	×	0.070			=	0.0007 m3
		⑪	0.400	×	0.100	×	0.070			=	0.0028 m3
		⑫	0.100	×	0.100	×	0.070	×	6	=	0.0042 m3
		⑬	0.400	×	1.500	×	0.070			=	0.0420 m3
		⑭	0.100	×	0.200	×	0.070			=	0.0014 m3
			0.100	×	0.100	×	0.070			=	0.0007 m3
		⑮	0.300	×	0.100	×	0.070			=	0.0021 m3
		⑯	0.400	×	1.100	×	0.070			=	0.0308 m3
		⑰	0.300	×	0.700	×	0.070			=	0.0147 m3
		⑱	0.300	×	0.100	×	0.070			=	0.0021 m3
		計									

工法	箇所	寸 法						数 量	
鉄筋防錆型 工法	第3径間 床版	①	0.200	×	0.100	×	0.030	=	0.0006 m3
		②	0.200	×	0.100	×	0.030	=	0.0006 m3
		③	0.300	×	0.300	×	0.030	=	0.0027 m3
	計							=	0.004 m3

第4径間 断面補修工 数量表

工 法	箇 所	寸 法						数 量			
鉄筋防錆型 工 法	第4径間 主桁	①	0.300	×	0.100	×	0.070	=	0.0021 m3		
		②	0.100	×	0.100	×	0.070	=	0.0007 m3		
		③	0.400	×	0.400	×	0.070	=	0.0112 m3		
		④	0.300	×	0.300	×	0.070	=	0.0063 m3		
		⑤	0.600	×	0.100	×	0.070	=	0.0042 m3		
		⑥	0.300	×	0.100	×	0.070	=	0.0021 m3		
			0.200	×	0.100	×	0.070	=	0.0014 m3		
		⑦	0.200	×	0.100	×	0.070	=	0.0014 m3		
			0.300	×	0.100	×	0.070	=	0.0021 m3		
		⑧	0.100	×	0.600	×	0.070	=	0.0042 m3		
			0.100	×	0.100	×	0.070	×	2	=	0.0014 m3
		⑨	0.300	×	0.200	×	0.070	=	0.0042 m3		
			0.500	×	0.300	×	0.070	=	0.0105 m3		
		⑩	0.300	×	0.300	×	0.070	=	0.0063 m3		
			0.100	×	0.100	×	0.070	×	2	=	0.0014 m3
		⑪	0.200	×	0.100	×	0.070	=	0.0014 m3		
			0.200	×	0.300	×	0.070	=	0.0042 m3		
		⑫	0.600	×	0.095	×	0.070	=	0.0040 m3		
			0.100	×	0.100	×	0.070	=	0.0007 m3		
		⑬	0.200	×	0.100	×	0.070	×	2	=	0.0028 m3
		計									=

工 法	管 所	寸 法						数 量	
鉄筋防錆型 工 法	第4径間 床版	①	0.300	×	0.400	×	0.100	=	0.0120 m3
		②	0.200	×	0.100	×	0.030	=	0.0006 m3
		③	0.200	×	0.100	×	0.030	=	0.0006 m3
	計							=	0.013 m3

工法	箇所	幅 (mm)		延長 (m)	箇所数	数 量
低圧注入工法	第4径間 主桁	①	0.2	0.400	1	0.4 m
		②	0.2	0.400	1	0.4 m
		計				0.8 m

工法	箇所	幅 (mm)		延長 (m)	箇所数	数 量
Uカット工法	第4径間 床版	①	0.3	1.300	1	1.3 m
		計				1.3 m

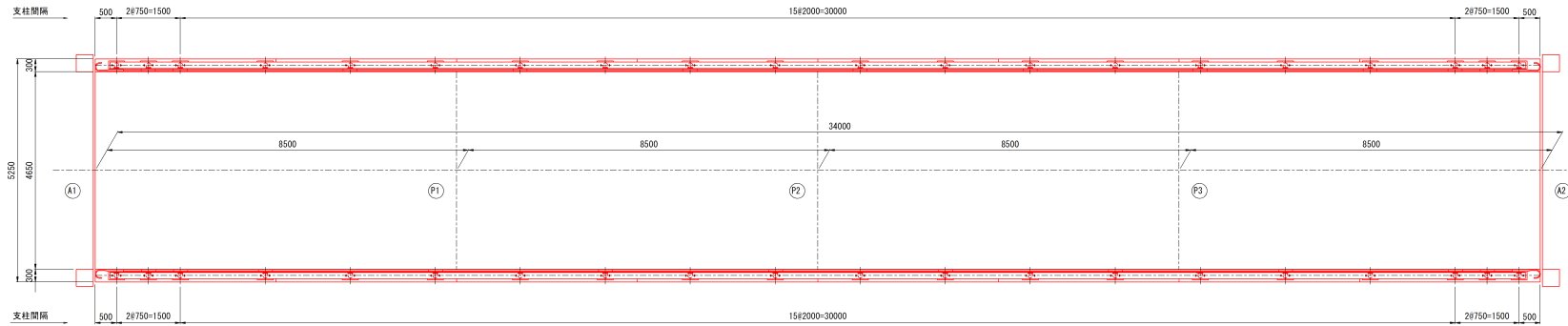
※本図面は、橋梁台座および現地寸法計測により
補充したものである。橋部の詳細寸法について
は、現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

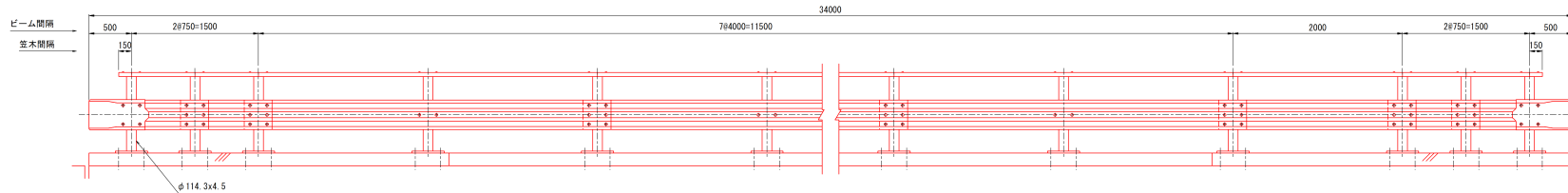
釜 石 市	
市道 唐丹57号線	釜石市唐丹町 字荒川・字上荒川 地内
全 21 枚ノ中 其 9	荒 川 橋 上部工補修図その6
令和 5 年度	
唐丹57号線(荒川橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

荒川橋 防護柵補修図

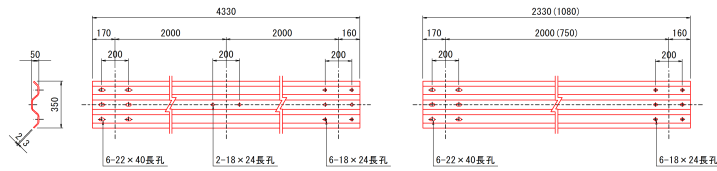
平面図 S=1:60



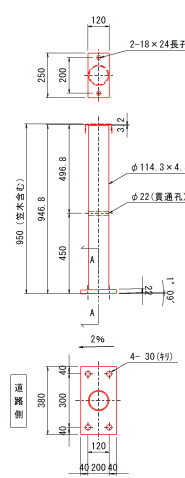
正面図 S=1:30



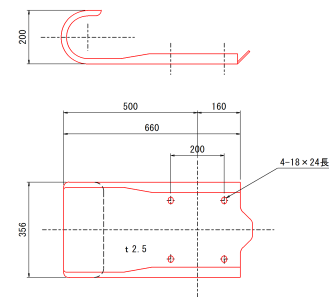
ビーム S=1:20



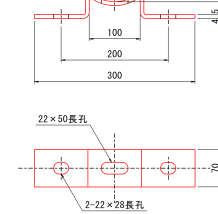
支柱 S=1:15



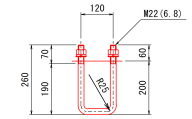
巻袖ビーム S=1:10



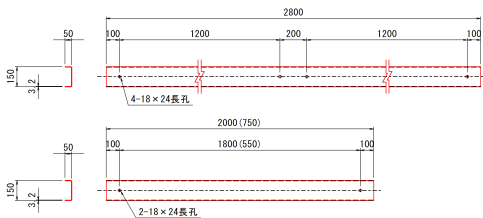
ブラケット S=1:5



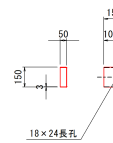
U字アンカーボルト S=1:10



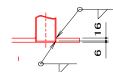
笠木 S=1:20



端部笠木 S=1:20



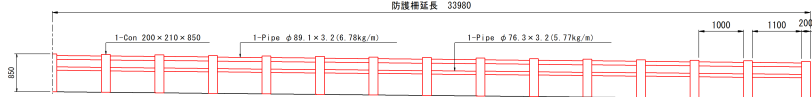
A-A 断面



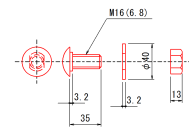
防護柵撤去図 S=1:60

支柱本数 N=58本/橋

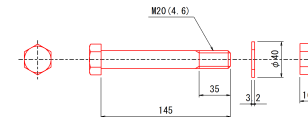
防護柵延長 33980



笠木・ビーム取付用ボルト S=1:3



ブラケット取付用ボルト S=1:3



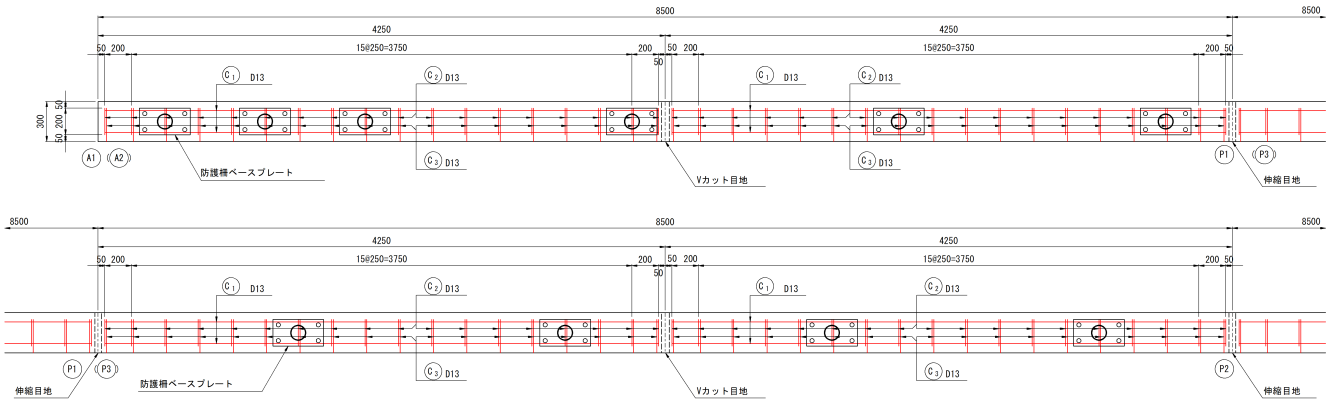
※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により
復元したものである。細部の詳細寸法について
は、現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

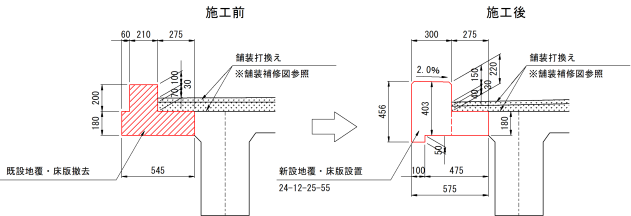
釜石市	
市道 唐丹57号線	釜石市唐丹町 字荒川・字上荒川 地内
全 21 枚ノ 其 10	荒 川 橋 防護柵補修図
令和 5 年度	
唐丹57号線(荒川橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

荒川橋 地覆補修図

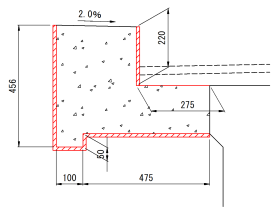
平面図 S=1:20



補修概要図 S=1:20

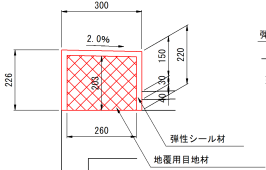


型枠 S=1:10

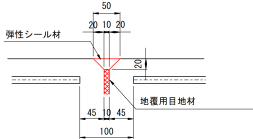


目地詳細図

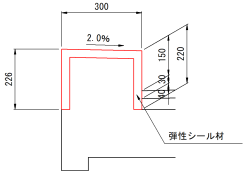
伸縮目地 S=1:10



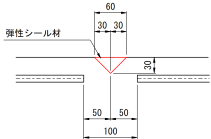
伸縮目地詳細 S=1:5



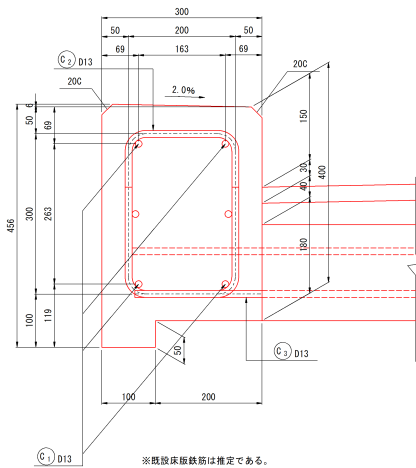
Vカット目地 S=1:10



Vカット目地詳細 S=1:5

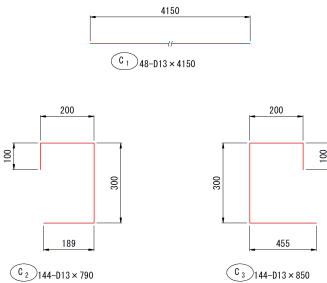


新設地覆詳細図 S=1:5



鉄筋加工図 S=1:10

(地覆片側当り)



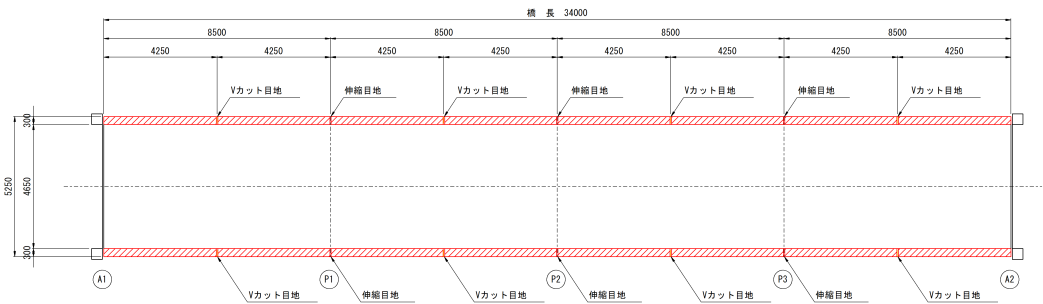
鉄筋表

記号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量	形状
C1	D13	4150	48	0.995	4.13	198	—
C2	n	790	144	n	0.79	113	□
C3	n	850	144	n	0.85	122	□
地覆片側当り D13						433 kg	
地覆両側当り D13						866 kg	

材料表

工種	仕様
打撃工	コンクリート 24-12-25-55

位置図 S=1:100



二級河川荒野川水系荒野川

注記

- Vカット目地及び伸縮目地の位置は、既設鉄筋配置状況・防護柵支柱位置を考慮し、5m間隔程度になるよう位置を最終決定すること。
- 地覆鉄筋配筋時に防護柵アンカーボルト、プレートを設置すること。
- 地覆鉄筋と防護柵アンカーボルト、プレートが干渉する場合は、既設鉄筋と干渉する場合は、地覆鉄筋をずらして設置すること。
- 地覆コンクリートには膨張材を用いる。
(単位膨張材量 30kg/m³)
- 地覆撤去の際は、既設床版を傷つけないよう注意すること。
- 施工の際、床版に損傷が起きた場合、監督員と協議し適切な処置を行うこと。

※本図面は、積算台帳および現地寸法計測により
補充したものである。細部の詳細寸法について
は、現地算計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

釜石市	
市道唐丹57号線	釜石市唐丹町 字荒川・字上荒川 地内
全 21 枚 中 頁 11	荒川橋 地覆補修図
令和 5 年度	
唐丹57号線(荒川橋)橋梁補修工事	
縮尺	図示

荒川橋 下部工補修図（その１）
（A1橋台）

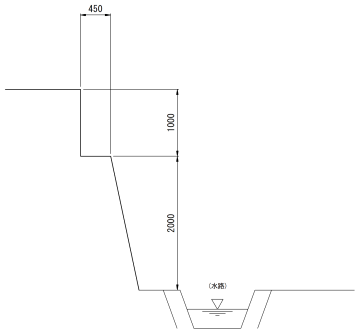
S=1:40

損傷の種類	表 示
ひびわれ	
剝 離	
鉄筋露出	
う き	
そ の 他	

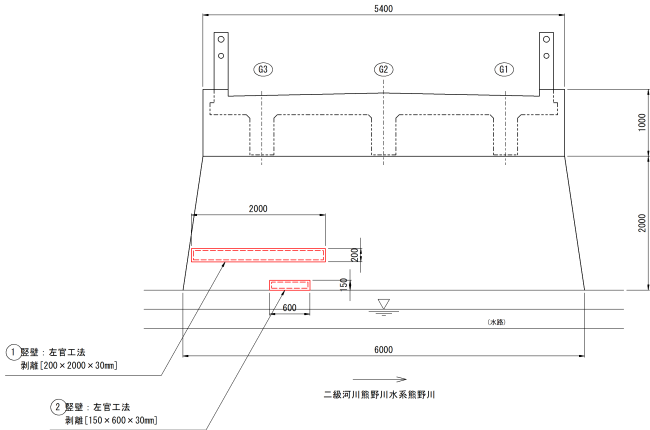
※凡例

番号 部材：左官工法
損傷[縦×横×厚さ(mm)]

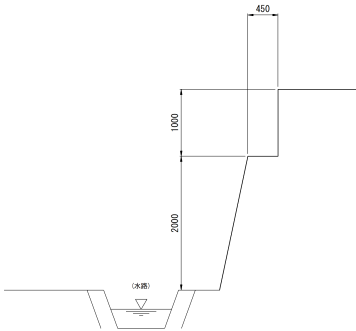
側 面 図
（上流側）



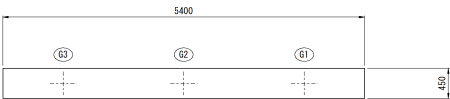
正 面 図



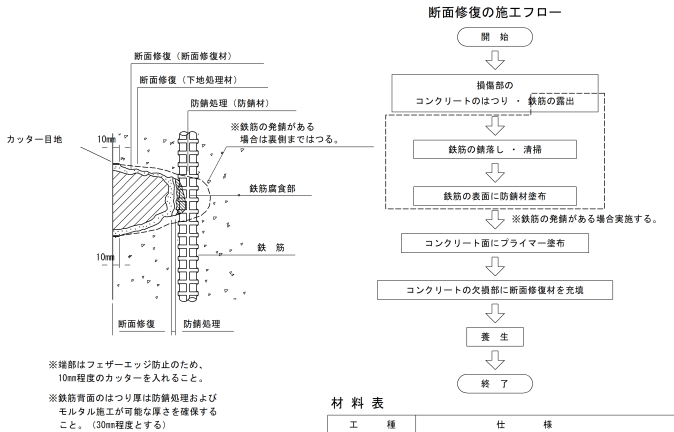
側 面 図
（下流側）



平 面 図



断面修復工〔左官工法〕



※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

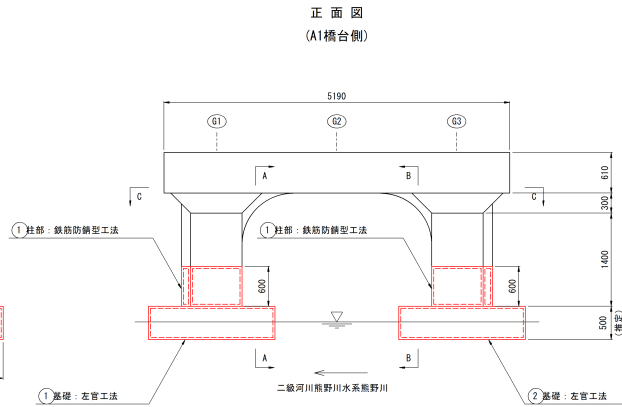
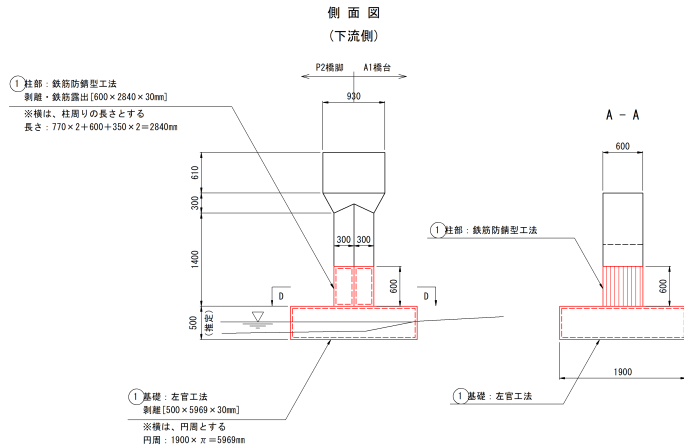
釜 石 市	
市道 番丹57号線	釜石市番丹町・宇茂川・宇上荒川 地内
全 21 枚 / 中 其 13	荒 川 橋 下部工補修図その1
令和 5 年 度	
彦丹57号線(荒川橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

荒川橋 下部工補修図（その2）

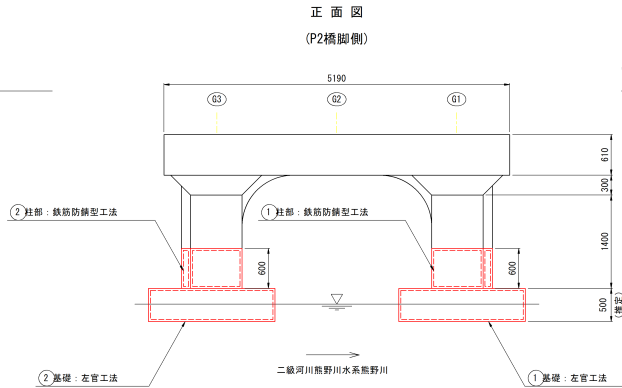
S=1:40

(P1橋脚)

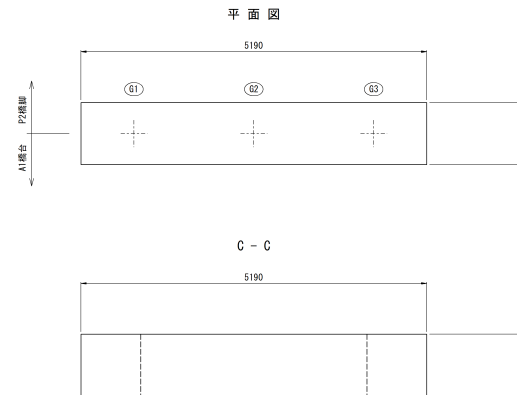
正面図
(A1橋台側)



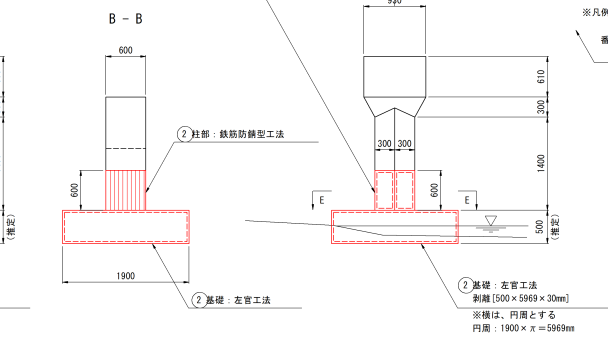
正面図
(P2橋脚側)



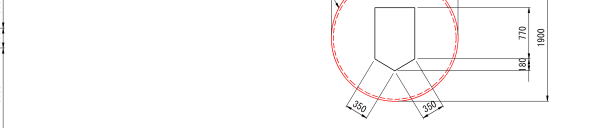
平面図



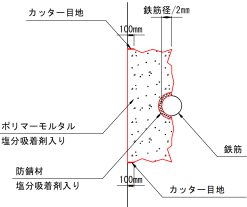
② 柱部：鉄筋防錆型工法
剥離・鉄筋露出[600×2840×30mm]
※横は、柱周りの長さとする
長さ：770×2+600+350×2=2840mm



④ 基礎：左官工法
剥離[2.32×10⁶×30mm]
※面積×厚さ(mm)とする
面積：0.785×1.900²-((0.950+0.770)×0.300)
=2.32m²
=2.32×10⁶mm²



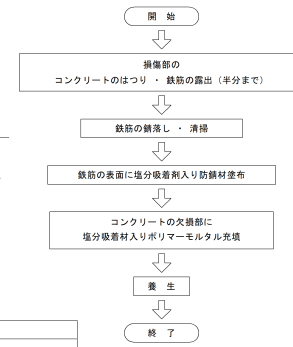
断面修復工〔鉄筋防錆型工法〕



材料表

工 種	仕 様
断面修復材	塩分吸着材入りポリマーモルタル
防錆材	塩分吸着材入り防錆材

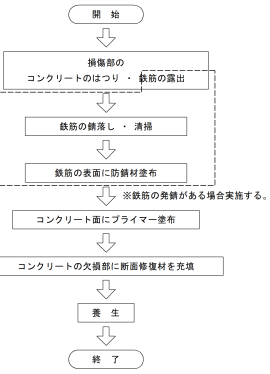
断面修復の施工フロー



※端部はフェザーエッジ防止のため、10mm程度のカッターを入れること。
※鉄筋背面のはつり厚は防錆処理およびモルタル施工が可能な厚さを確保すること。(30mm程度とする)

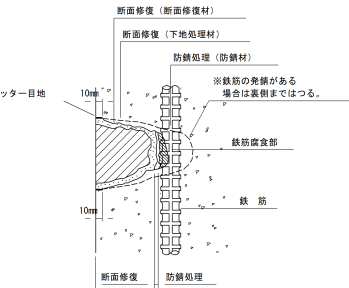
断面修復工〔左官工法〕

断面修復の施工フロー



材料表

工 種	仕 様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー



※端部はフェザーエッジ防止のため、10mm程度のカッターを入れること。
※鉄筋背面のはつり厚は防錆処理およびモルタル施工が可能な厚さを確保すること。(30mm程度とする)

釜 石 市	
市道 唐丹57号線	釜石市唐丹町 字荒川・字上荒川 地内
全 21 枝ノ中 其 14	荒 川 橋 下部工補修図その2
令和 5 年度	
唐丹57号線(荒川橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

※本図面は、橋梁おもと及び現地測量計測により
作成したものである。縮尺の詳略寸法について
は、現地再計測の上決定すること。

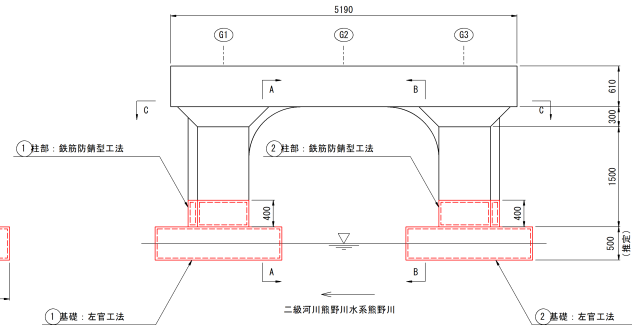
この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

荒川橋 下部工補修図（その3）

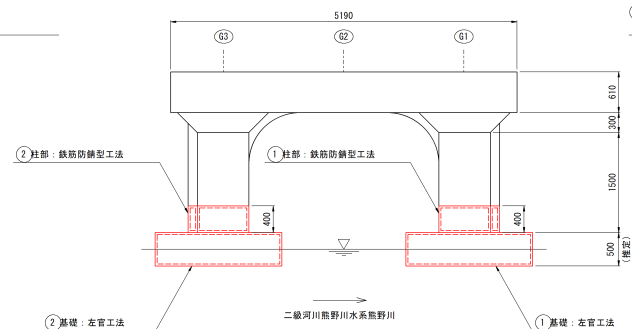
S=1:40

(P2橋脚)

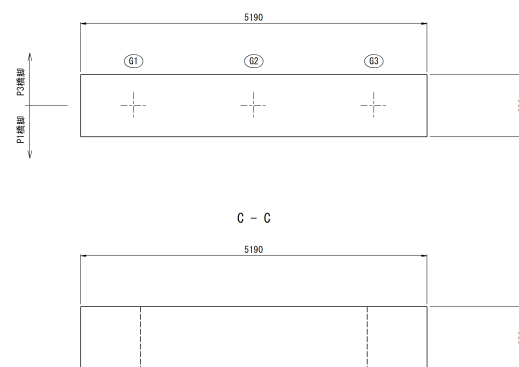
正面図
(P1橋脚側)



正面図
(P3橋脚側)



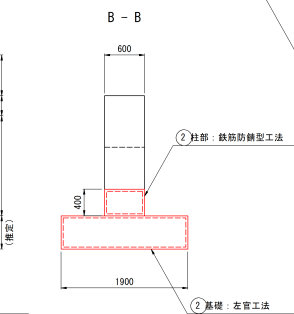
平面図



C - C



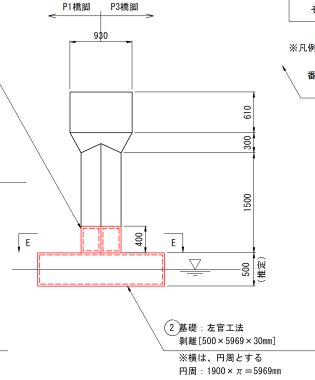
② 柱部：鉄筋防錆型工法
剥離[400×2840×30mm]
※横は、柱周りの長さとする
長さ：770×2+600+350×2=2840mm



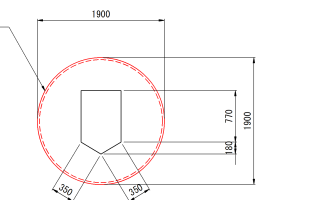
④ 基礎：左官工法
剥離[2.32×10'6×30mm]
※面積×厚さ(mm)とする
面積：0.785×1.900'2-((0.950+0.770)×0.300)
=2.32m2
=2.32×10'6mm2



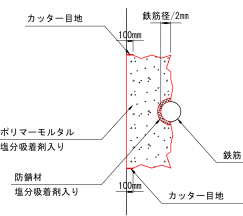
側面図
(上流側)



E - E



断面修復工〔鉄筋防錆型工法〕

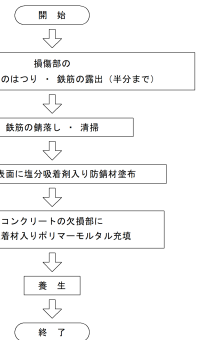


※端部はフェザーエッジ防止のため、10mm程度の Cutter を入れること。
※鉄筋背面のはつり厚は防錆処理およびモルタル施工が可能な厚さを確保すること。(30mm程度とする)

材料表

工 種	仕 様
断面修復材	塩分吸着材入りポリマーモルタル
防錆材	塩分吸着材入り防錆材

断面修復の施工フロー

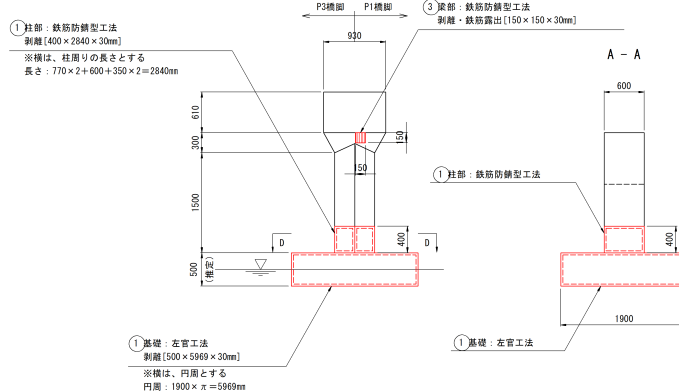


釜 石 市	
市道 唐丹57号線	釜石市唐丹町 字荒川・字上荒川 地内
全 21 枚ノ中 其 15	荒 川 橋 下部工補修図その3
令和 5 年度	
唐丹57号線(荒川橋)養老補修工事	
縮 尺	図 示

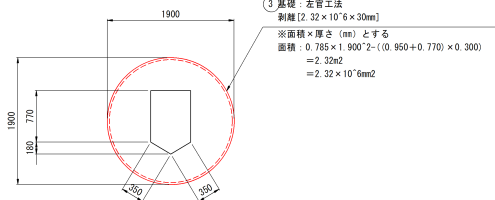
※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により複合したものである。橋部の詳細寸法については、現地設計図に決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小しているものであり、図示される縮尺は原図に対するものである。

側面図
(下流側)

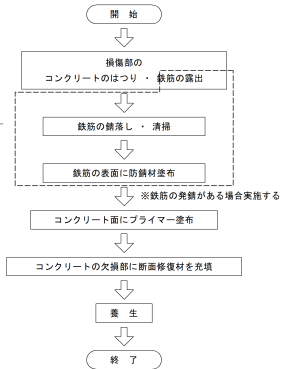


D - D



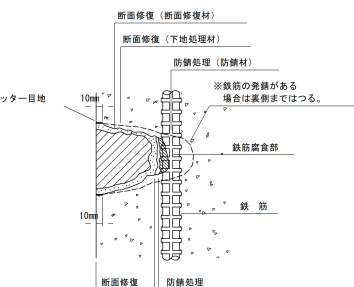
断面修復工〔左官工法〕

断面修復の施工フロー



材料表

工 種	仕 様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防錆材	防錆材入りポリマーセメント系プライマー



※端部はフェザーエッジ防止のため、10mm程度の Cutter を入れること。

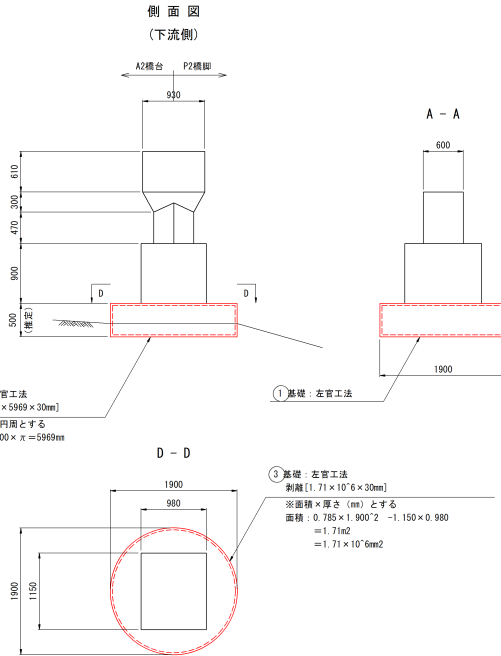
※鉄筋背面のはつり厚は防錆処理およびモルタル施工が可能な厚さを確保すること。(30mm程度とする)

荒川橋 下部工補修図（その4）

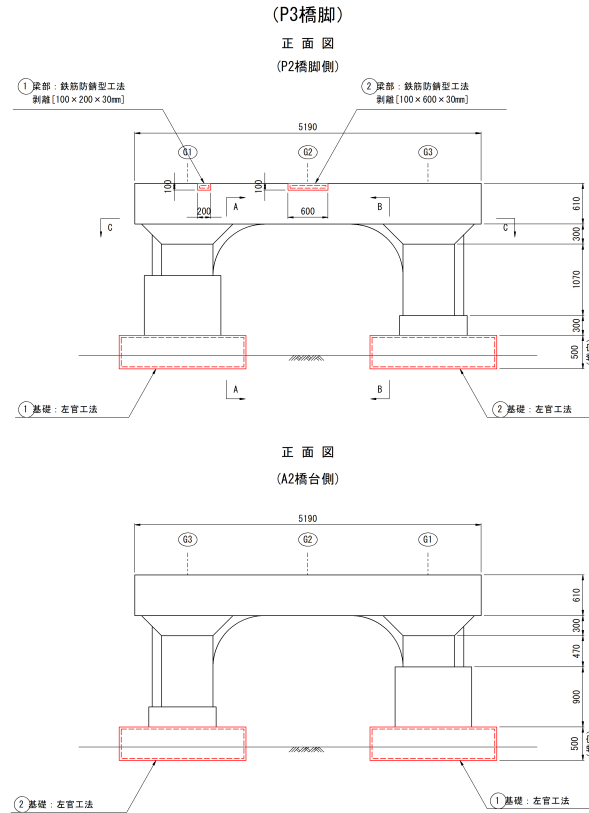
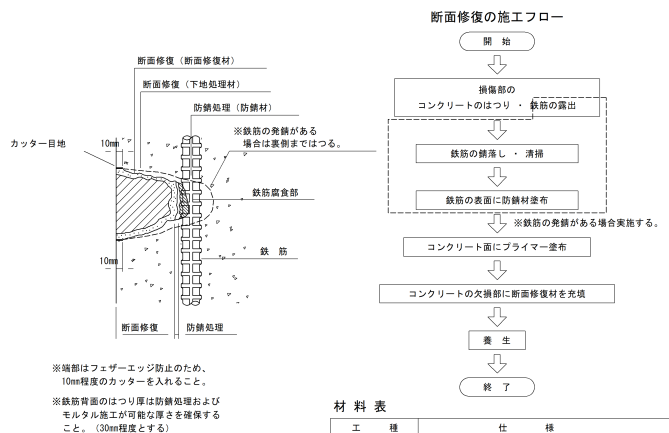
S=1:40

損傷の種類	表 示
ひびわれ	
剥 離	
鉄筋露出	
う き	
そ の 他	

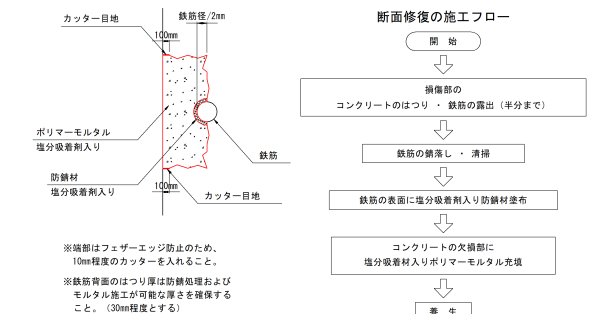
※凡例
番号 部材：左官工法
損傷[縦×横×厚さ(mm)]



断面修復工〔左官工法〕



断面修復工〔鉄筋防錆型工法〕



※本図面は、検査台帳および現地寸法計測により
補充したものである。細部の詳細寸法について
は、現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

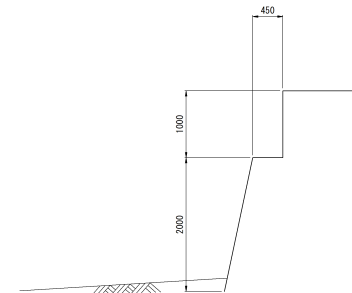
釜 石 市	
市道 唐丹57号線	釜石市唐丹町 字荒川・字上荒川 地内
全 21 枚ノ中 其 16	荒 川 橋 下部工補修図その4
令和 5 年度	
唐丹57号線(荒川橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

S=1:40

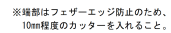
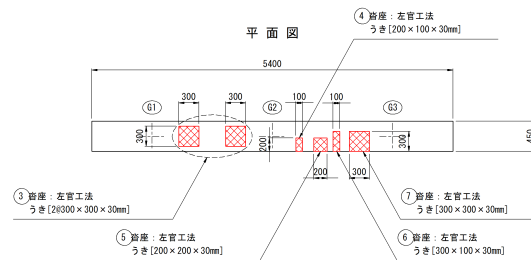
※凡例

番号 部材：左官工法
損傷〔縦×横×厚さ(mm)〕

側面図
(上流側)



平面图



※鉄筋背面のはつり厚は防錆処理およびモルタル施工が可能な厚さを確保すること。(30mm程度とする)

工 種	仕 様
断面修復材	ポリマーセメントモルタル
プライマー	ポリマーセメント系プライマー
防蝕材	防蝕材入りポリマーセメント系プライマー

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

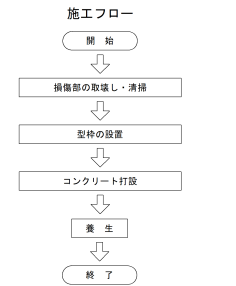
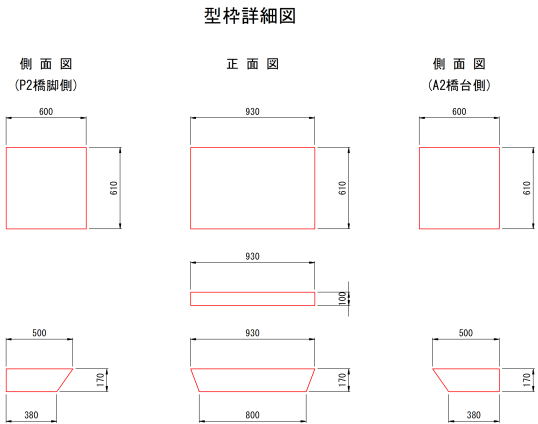
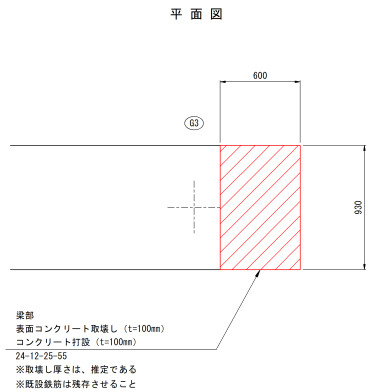
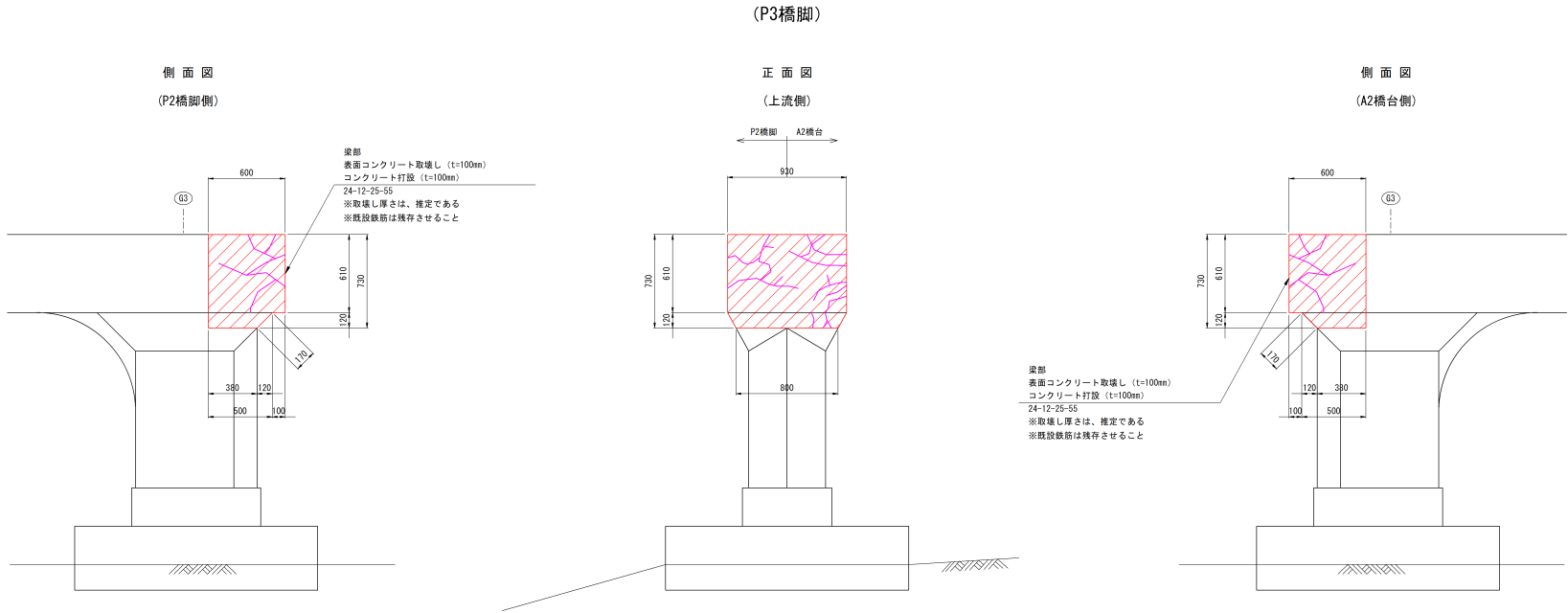
この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

釜 石 市	
市道 彦丹57号線	釜石市彦丹町 字荒川・字上荒川 地内
全 21 枚ノ中 其 17	荒 川 橋 下部工補修区その5
令和 5 年度	
彦丹57号線(荒川橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

荒川橋 下部工補修図（その6）

S=1:20

損傷の種類	表 示
ひびわれ	
剝 離	
鉄筋露出	
う き	
そ の 他	



工 種	仕 様
打替え工	コンクリート 24-12-25-55

- 注記
- 劣化部は除去後、清掃を行うこと。
 - コンクリートには膨張剤（単位重量 30kg/m³）を使用すること。
 - 取壊し厚さの100mmは、コンクリート表面から鉄筋の裏側までの距離を推定した値であるため、現地で調整すること。

※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により
復元したものである。細部の詳細寸法につい
ては、現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

釜 石 市	
市道 唐丹57号線	釜石市唐丹町 字荒川・字上荒川 地内
全 21 枚ノ中 其 18	荒 川 橋 下部工補修図その6
令和 5 年度	
唐丹57号線(荒川橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

荒川橋 下部工補修図（その 7）

数量表

S=1:40

A1橋台 断面補修工 数量表

工 法	箇 所	寸 法						数 量	
左管工法	A1橋台	①	0.200	×	2.000	×	0.030	=	0.0120 m3
		②	0.150	×	0.600	×	0.030	=	0.0027 m3
	計							=	0.015 m3

P1橋脚 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸 法						数 量	
鉄筋防錆型 工法	P1橋脚	①	0.600	×	2.840	×	0.030	=	0.0511 m3
		②	0.600	×	2.840	×	0.030	=	0.0511 m3
	計							=	0.102 m3

工法	箇所	寸 法						数 量	
左管工法	P1橋脚	①	0.500	×	5.969	×	0.030	=	0.0895 m3
		②	0.500	×	5.969	×	0.030	=	0.0895 m3
		③	2.320	×	0.030			=	0.0696 m3
		④	2.320	×	0.030			=	0.0696 m3
	計							=	0.318 m3

P2橋脚 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸 法						数 量	
鉄筋防錆型 工法	P2橋脚	①	0.400	×	2.840	×	0.030	=	0.0341 m3
		②	0.400	×	2.840	×	0.030	=	0.0341 m3
		③	0.150	×	0.150	×	0.030	=	0.0007 m3
	計							=	0.069 m3

工法	箇所	寸 法						数 量	
左管工法	P2橋脚	①	0.500	×	5.969	×	0.030	=	0.0895 m3
		②	0.500	×	5.969	×	0.030	=	0.0895 m3
		③	2.320	×	0.030			=	0.0696 m3
		④	2.320	×	0.030			=	0.0696 m3
	計							=	0.318 m3

P3橋脚 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸 法						数 量			
鉄筋防錆型 工法	P3橋脚	①	0.100	×	0.200	×	0.030	=	0.0006 m3		
		②	0.100	×	0.600	×	0.030	=	0.0018 m3		
		③	0.600	×	0.300	×	0.030	=	0.0054 m3		
		④	0.400	×	0.300	×	0.030	=	0.0036 m3		
		⑤	0.100	×	0.100	×	0.030	×	2	=	0.0006 m3
		⑥	0.100	×	0.100	×	0.030	×	4	=	0.0012 m3
		⑦	0.200	×	0.100	×	0.030	×	2	=	0.0012 m3
		⑧	0.100	×	0.600	×	0.030			=	0.0018 m3
			計						=	0.016 m3	

工法	箇所	寸 法						数 量	
左管工法	P3橋脚	①	0.500	×	5.969	×	0.030	=	0.0895 m3
		②	0.500	×	5.969	×	0.030	=	0.0895 m3
		③	1.710	×	0.030			=	0.0513 m3
		④	2.060	×	0.030			=	0.0618 m3
		計							=

A2橋台 断面補修工 数量表

工法	箇所	寸 法					数 量				
左管工法	A2橋台	①	0.200	×	0.200	×	0.030	=	0.0012 m3		
		②	0.200	×	0.400	×	0.030	=	0.0024 m3		
		③	0.300	×	0.300	×	0.030	×	2	=	0.0054 m3
		④	0.200	×	0.100	×	0.030	=	0.0006 m3		
		⑤	0.200	×	0.200	×	0.030	=	0.0012 m3		
		⑥	0.300	×	0.100	×	0.030	=	0.0009 m3		
		⑦	0.300	×	0.300	×	0.030	=	0.0027 m3		
	計							=	0.014 m3		

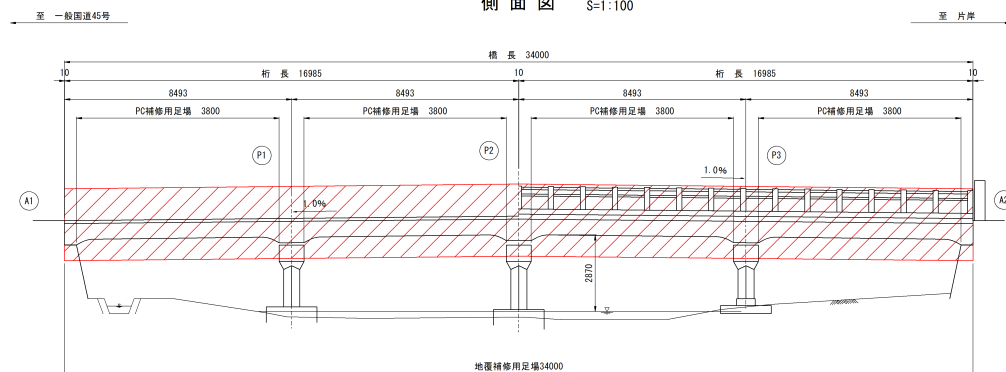
※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により
復元したものである。詳細の詳細寸法について
は、現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

釜 石 市	
市道 唐丹57号線	釜石市唐丹町 字荒川・字上荒川 地内
全 21 枚ノ中 其 19	荒 川 橋 下部工補修図その7
令和 5 年度	
唐丹57号線(荒川橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

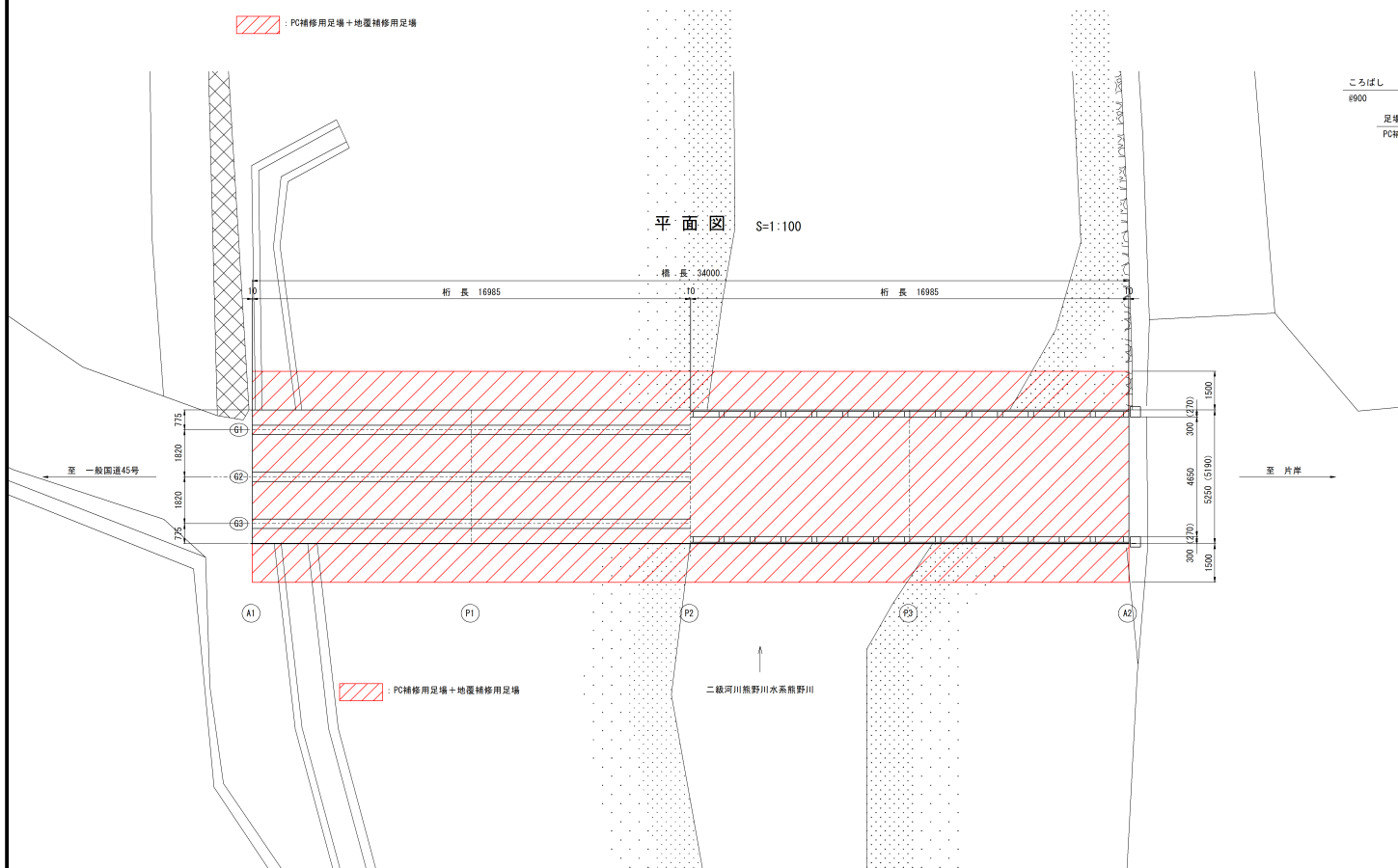
荒川橋 施工計画図（案）（その１）


側 面 図 S=1:100



 : PC補修用足場+地覆補修用足場

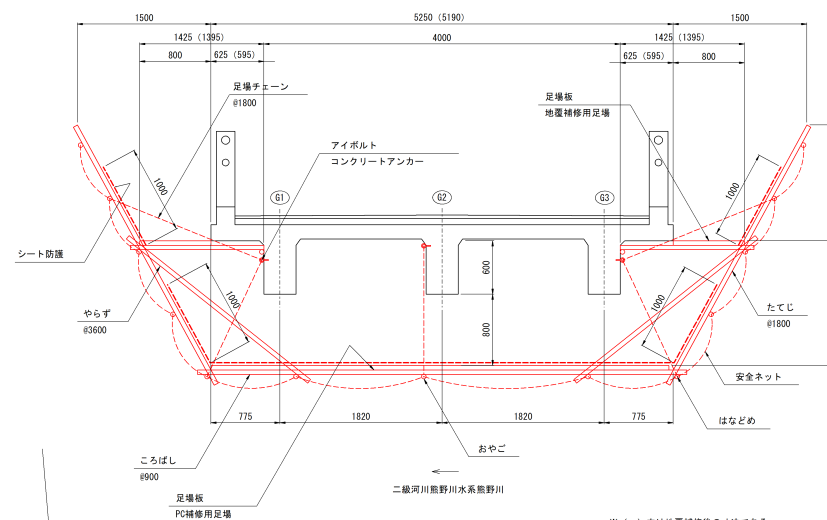
平面图 S=1:100



 : PC補修用足場+地覆補修用足場

二級河川熊野川水系熊野川

断面図 S=1:30



※ () 内は地覆補修後の寸法である。

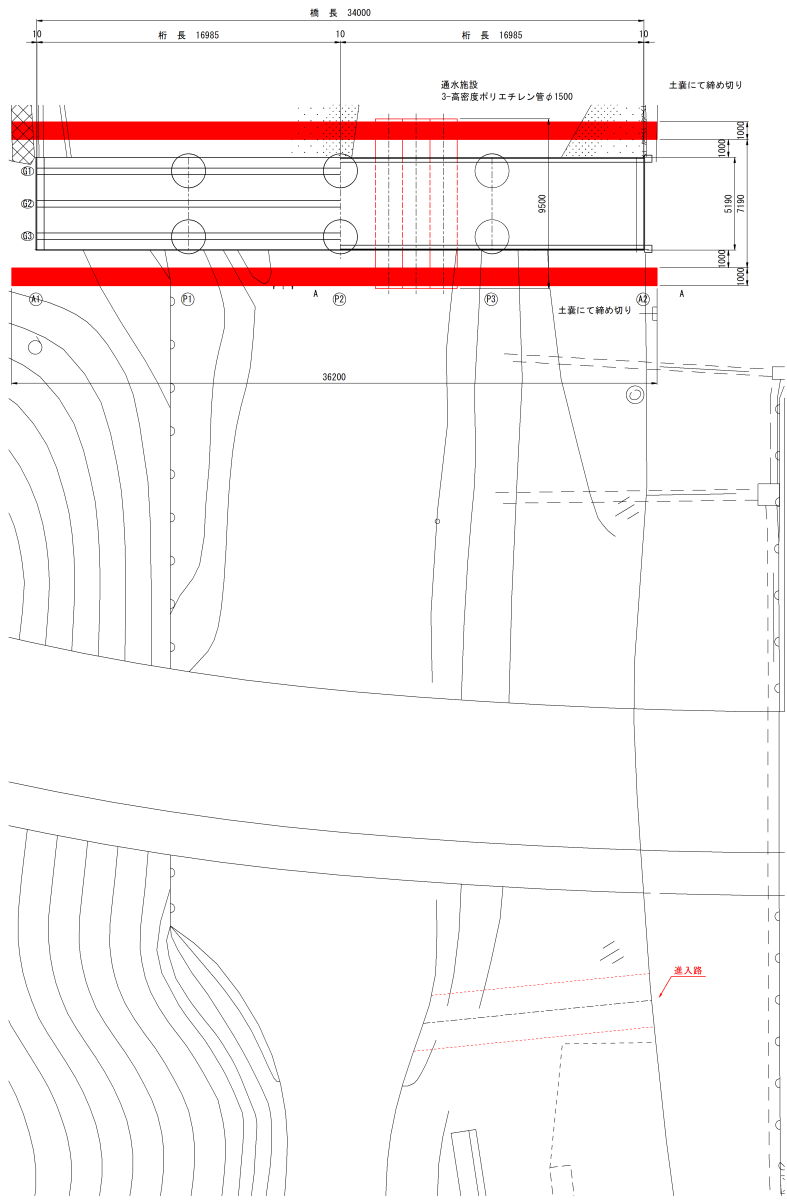
※本図面は、橋梁台帳および現地寸法計測により復元したものである。細部の詳細寸法については、現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

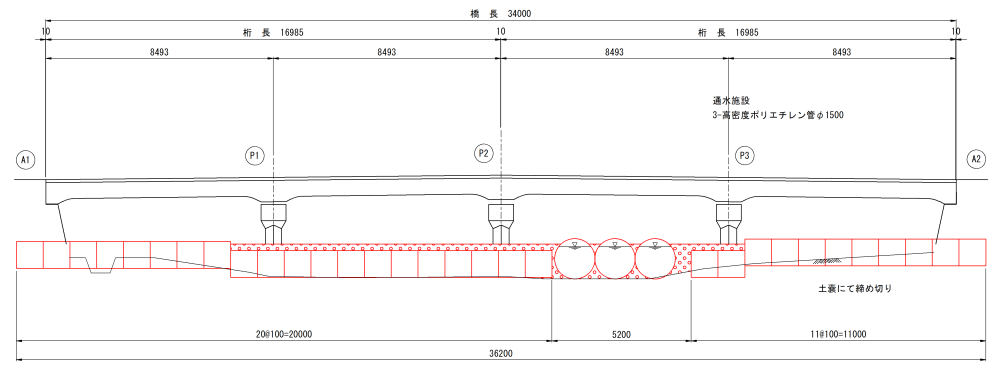
釜 石 市	
市道 唐丹57号線	釜石市 唐丹町 字 荒川・字上荒川 地
全 21 枚ノ中 其 20	荒 川 橋 施工計画図(案)その
令和 5 年度	
唐丹57号線(荒川橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

荒川橋 施工計画図（案）（その2）

平面図 S=1:150

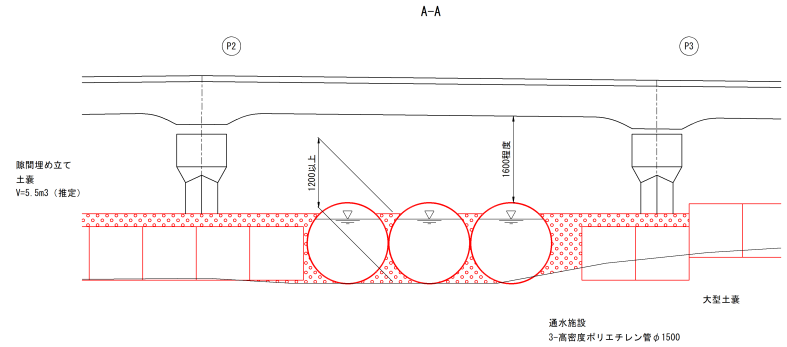


側面図 S=1:100



高密度ポリエチレン管設置詳細図

S=1:50



※本図面は、橋梁台橋および現地寸法計測により
復元したものである。細部の詳細寸法につい
ては、現地再計測の上決定すること。

この図面は原図を1/2に縮小して
いるものであり、図示される縮尺
は原図に対するものである。

釜石市	
市道 唐丹57号線	釜石市唐丹町 字荒川・字上荒川 地内
全 21 枚ノ中 其 21	荒川橋 施工計画図（案）その2
令和 5 年度	
唐丹57号線（荒川橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示